



ほかにはない
アンサーを。

オリックス株式会社

2019年3月期第2四半期 決算説明会

取締役兼代表執行役社長 グループCEO 井上 亮

2018年10月29日

P. 3

2019年3月期 上期 業績総括

前年同期比では6.6%減益ながら、ROEは11%以上の水準を維持

P. 4

新規投資

19.3期上期の新規投資額は約4,000億円、今後の成長に寄与する投資を進める

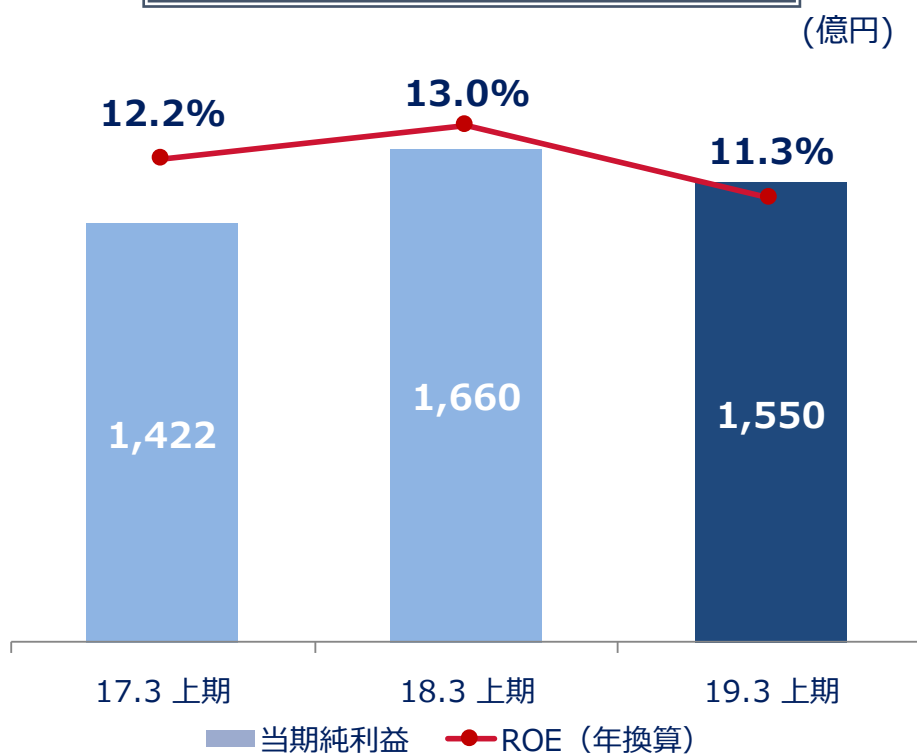
P. 10

株主還元

19.3期通期の配当性向を30%に引き上げ。通期の配当予想額は76円

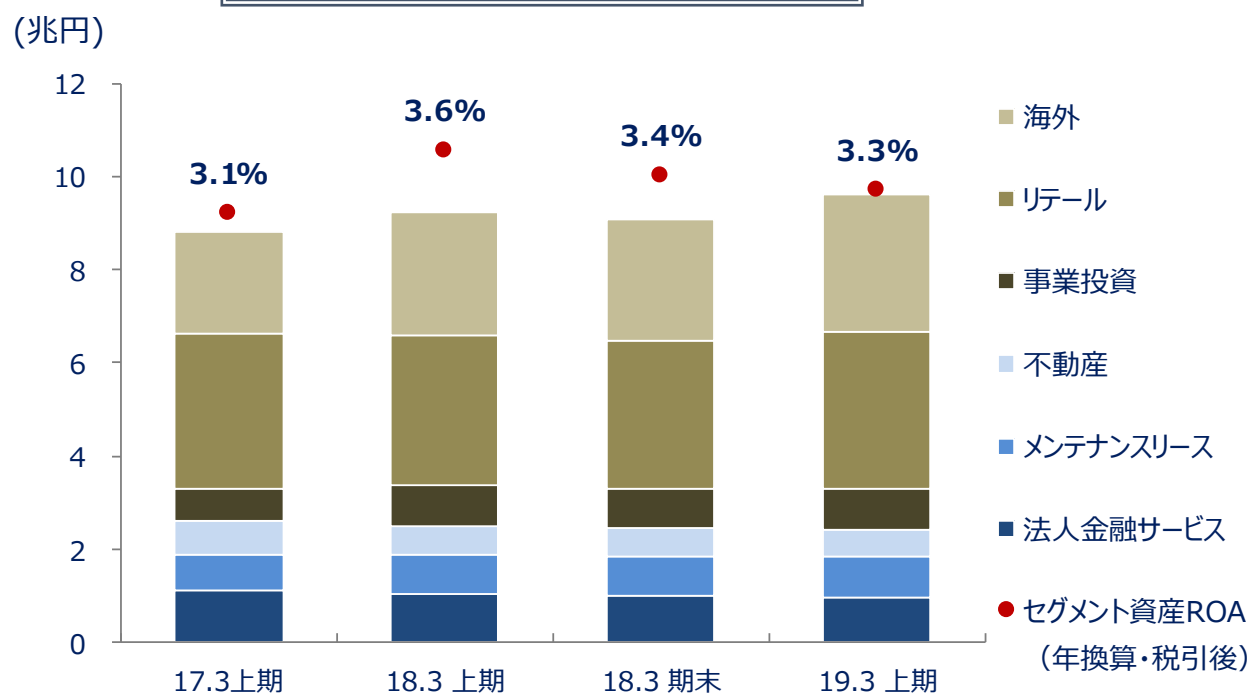
- ✓ 2019年3月期上期の当期純利益は 1,550億円（前年同期比▲6.6%）、ROE（年換算）は11.3%
- ✓ セグメント資産は9兆6,205億円（前期末比+5.7%）

当期純利益※とROE（年換算）



※「当期純利益」は「当社株主に帰属する当期純利益」を指します。

セグメント資産とROA（年換算）



新規投資 : NXT Capital Group, LLC の買収

✓ 米国のローン組成、サービシング、アセットマネジメント会社「NXT Capital」を8.6億米ドル※（950億円）で買収

※ クローリング時点でのエクイティバリュー

✓ アセットマネジメント事業の機能を充実していく

主な子会社		主な事業内容	AUM*1	セグメント利益（税前） の規模感*2
ORIX Europe (旧Robeco)	Robeco Institutional Asset Management B.V. Boston Partners Global Investors, Inc., 他	資産運用	38 兆円	445 億円
ORIX USA	NXT Capital Group, LLC	ローン組成、資産運用	5,000 億円	100 億円*3
	RED Capital Group, LLC	ローン組成、サービシング	1.8 兆円	48 億円
	Mariner Investment Group entities	ファンド運営・管理	1.1 兆円	9 億円
	RB Capital S.A.	不動産証券化、資産運用、 不動産開発・投資	8,000 億円	9 億円
	Boston Financial Investment Management, LP	ファンド組成・運用	8,000 億円	32 億円
	Lancaster Pollard Holdings, LLC	ローン組成、サービシング	7,000 億円	15 億円*4
不動産	オリックス・アセットマネジメント（株）	不動産投資運用業（J-REIT）	6,689 億円	20 億円
	オリックス不動産投資顧問（株）	不動産投資運用等（私募ファンド）	4,000 億円	66 億円
合計			44.8 兆円	744 億円

*1: AUMの数値はServicing Assets等も含む概算値 *2: 2018年3月期実績をもとに概算 *3: 2020年3月期の見込み *4: 7ヵ月分（2017年9月グループ入りのため）

新規投資：Avolon Holdings Limited への出資

- ✓ 世界第3位の航空機リース会社 Avolonの発行済株式30%を22億米ドル（2,500億円）で取得することに合意
- ✓ 年間120億円程度の税前利益を見込む

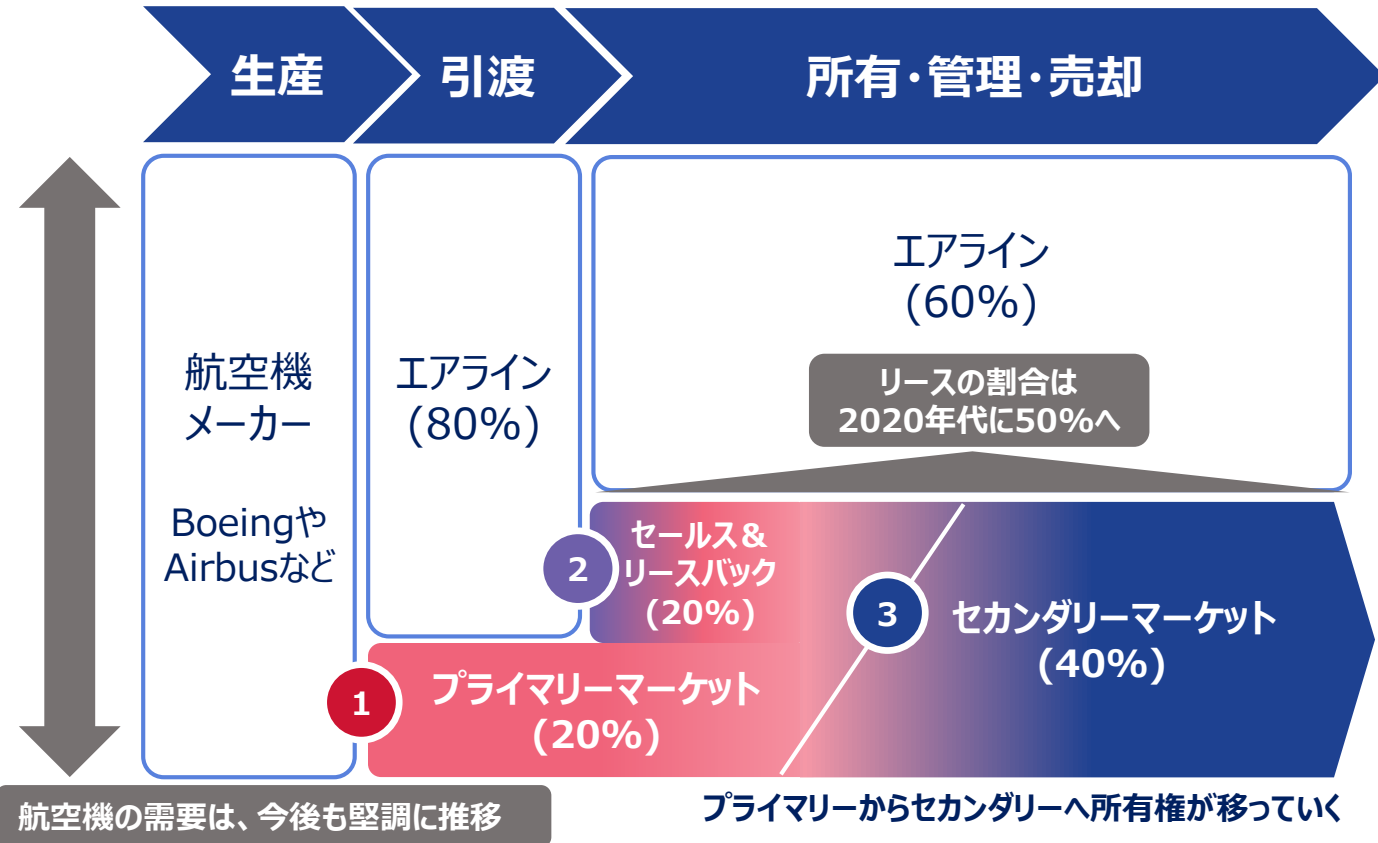
■ オリックスの航空機事業とAvolon

	オリックス 航空機事業	Avolon (オリックスの持分は30%)	投資意義 見込まれるシナジー
税前利益	184 億円 (2018年3月期)	600 億円 (2017年12月期)	【投資意義】 ・フェアバリューでのエントリー
資産	3,855 億円 (2018年9月末)	3 兆円 (2017年12月末)	【シナジー】 ・市場規模の大きい川上の事業 (プライマリーマーケット) への進出
保有・管理・発注 機体数	保有・管理 214 機 (2018年9月末)	保有・管理 571 機 発注済 319 機 (2018年9月末)	・Avolon機体の日本の投資家への 供給、手数料収入の増加
強み	・アセットマネジメントのノウハウ ・日本の投資家層へのリーチ	・プライマリープレイヤーとしての、 マーケティングや調達能力	・Avolonの資金調達環境の改善 による利益成長

航空機ビジネスのバリューチェーンと今後の成長のポテンシャル

- ✓ バリューチェーンの拡大により、オペレーティングリース投資案件の組成面でのシナジーも追求
- ✓ 今後も高い成長が期待される航空機リースマーケットにおいて、一層のプレゼンス向上を図る

■ 航空機マーケットとリース割合



出典：Ascend “Fleet Analyzer”, CAPA “Fleet Database”, Flight Global “Fleet Watch 2018”より当社作成
括弧内の数値は航空機全体に占める割合

(Avolon/オリックス航空機事業の事業分野の比較)

特徴	調達	機体	Avolon	オリックス
1 プライマリーマーケット メーカーから直接購入しリース。財務体力とマーケティング体制が必要	メーカー	新造	◎	×
2 セールス&リースバック エアラインから機体を購入。昨今、新規参入が相次いでおり競争激化	エアライン	新造	◎	○
3 セカンダリーマーケット プライマリープレイヤーからリース付き機体を購入し、所有・管理受託等を行う	他社	中古	△	◎

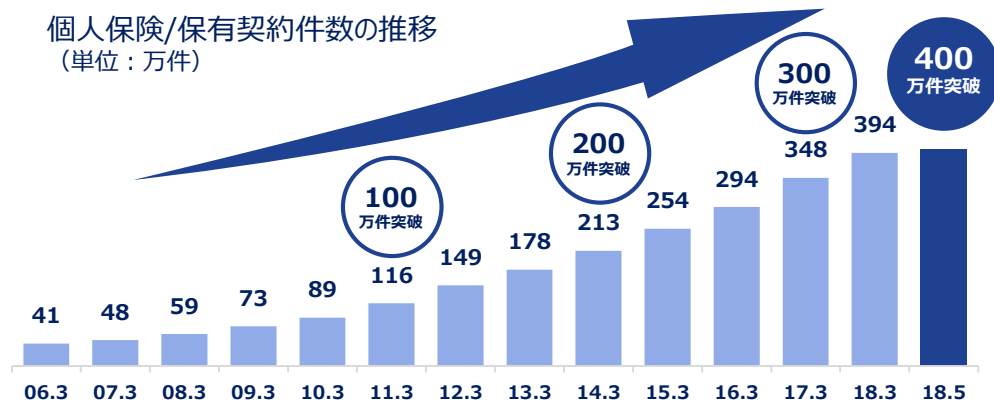
2019年3月期 上期 その他実績

- ✓ 生命保険：販売チャネルや商品を拡充させ、次のステージへ
- ✓ 環境エネルギー：国内メガソーラー順次稼働、自社電源の活用を推進。海外の投資機会も積極的に発掘

生命保険

- **保有契約件数（個人保険）の伸長**
2018年5月末時点で400万件を超え、2005年度から12期連続で2桁の伸び率を達成
- **第三分野商品の保険料改定と新特約の発売**
価格競争力のある保険料水準を維持

個人保険/保有契約件数の推移
(単位：万件)



環境エネルギー

- **再生可能エネルギー発電所の運営・管理・保守会社を設立**
O&M (Operation & Maintenance) の強化により、発電容量の最大化につながる最適運用を目指す
- **海外でのM&A**
ロンドンに拠点を設け、海外における再生可能エネルギー事業を開拓

(2018年9月末現在)

	確保済	稼働済
国内太陽光発電	1,000MW	780MW

大京の完全子会社化について

※ 詳細は2018年10月26日開示の「株式会社大京株券等（証券コード:8840）に対する公開買付けの開始に関するお知らせ」をご覧ください



- ✓ 上場子会社である株式会社大京の完全子会社化を目的に公開買付けを実施
- ✓ 「事業投資セグメント」から「不動産セグメント」へ移管。オリックスの不動産事業との相互補完を図る

■ 大京の決算数値（大京 2018年3月期 決算説明会資料より）

単位：億円	2018.3期 実績	2019.3期 予想	増減
営業収入	3,351	3,650	+298
不動産管理事業	1,709	1,870	+160
不動産流通事業	635	650	+14
不動産開発事業	1,082	1,200	+117
全社・消去	▲75	▲70	+5
営業利益	201	220	+18
(利益率)	6.0%	6.0%	+0.0p
不動産管理事業	110	130	+19
不動産流通事業	36	39	+2
不動産開発事業	88	95	+6
全社・消去	▲33	▲44	▲10
経常利益	197	205	+7
(利益率)	5.9%	5.6%	▲0.3p
親会社株主に帰属する当期純利益	138	140	+1

(日本会計基準)

■ 完全子会社化後

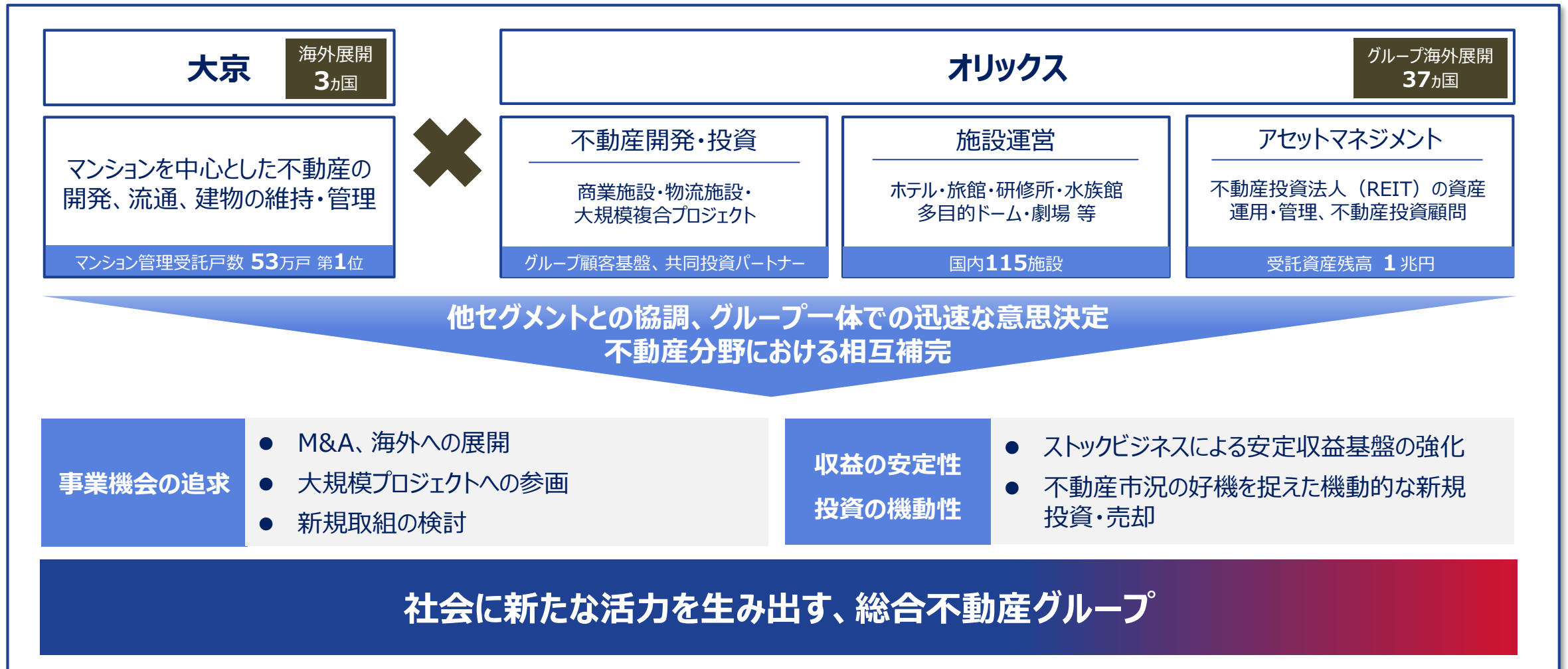
	大京	オリックス 不動産 セグメント	合計
税前利益	205億円*1	624億円 (セグメント利益)	829億円
セグメント 資産	1,817億円*2	6,202億円	8,019億円
従業員数	5,621人	4,978人	10,599人

*1: 19.3月期の経常利益（予想） (2018年3月期)

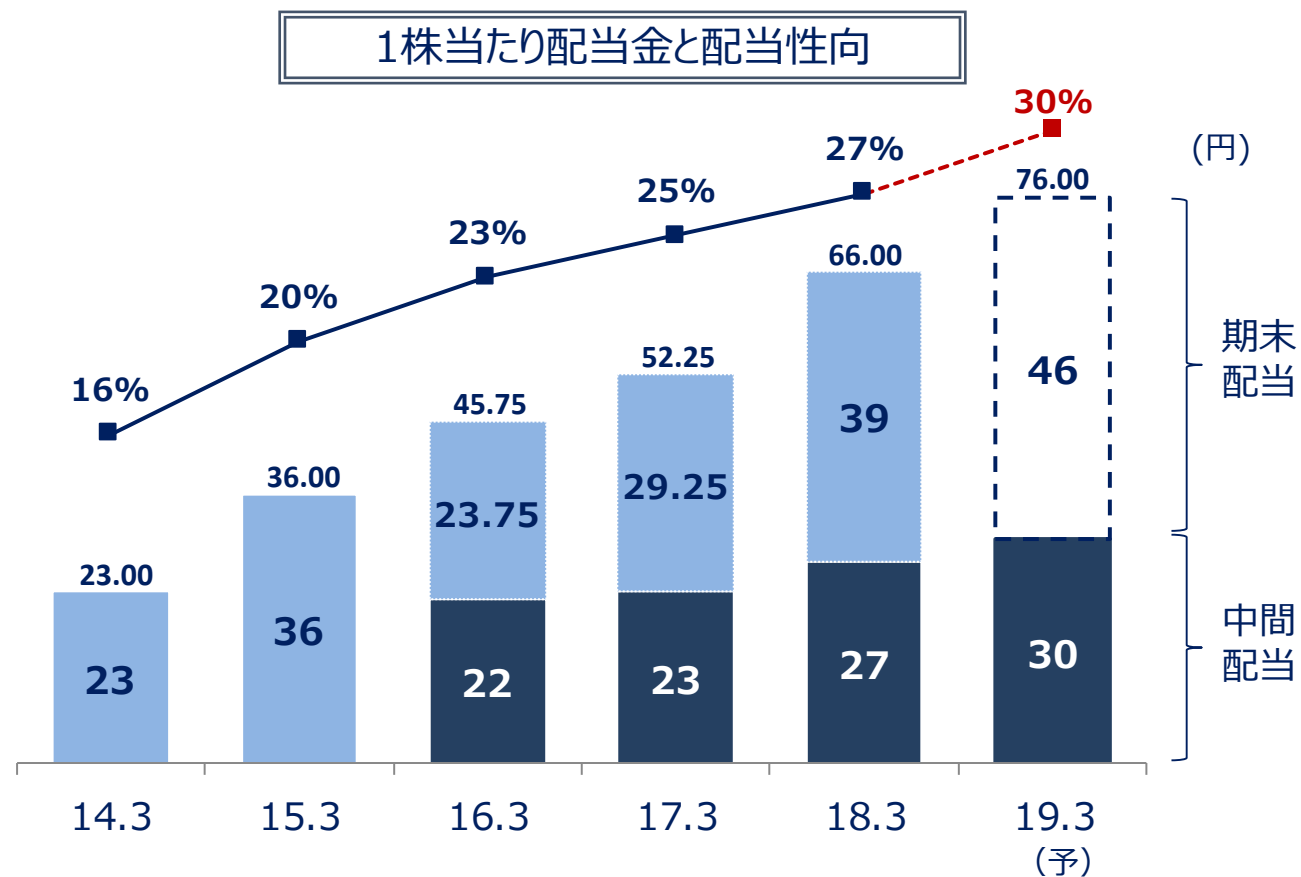
*2: オリックス事業投資セグメントに計上されている資産

大京とオリックス不動産事業との相互補完

- ✓ 総合不動産グループとして、オリックスグループ一体での中長期的な成長を目指す
- ✓ 海外案件や大規模なプロジェクトに対応できる体制を構築する

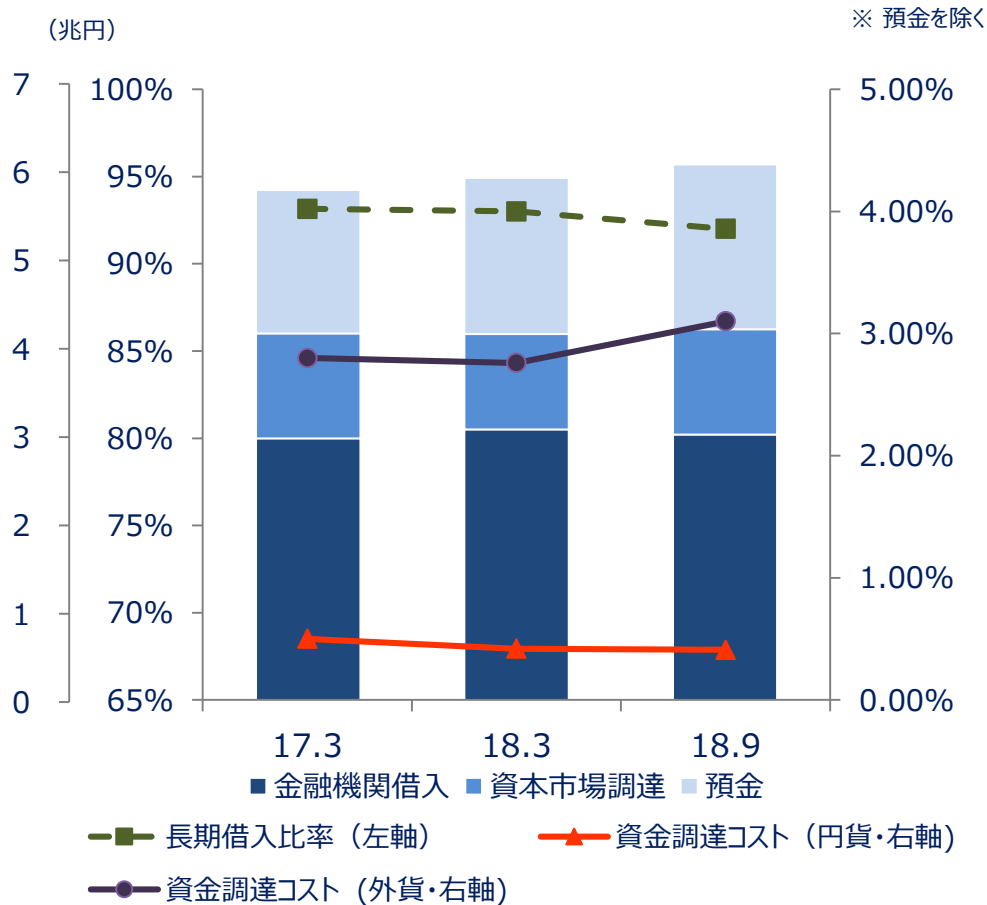


- ✓ 2019年3月期の中間配当額は30円を実施
- ✓ 2019年3月期の通期の配当性向を30%に引き上げ、通期配当予想額76円（前期比10円増、15%増）
- ✓ 持続的な利益成長に向けた新規投資と、安定した還元との最適なバランスを考慮

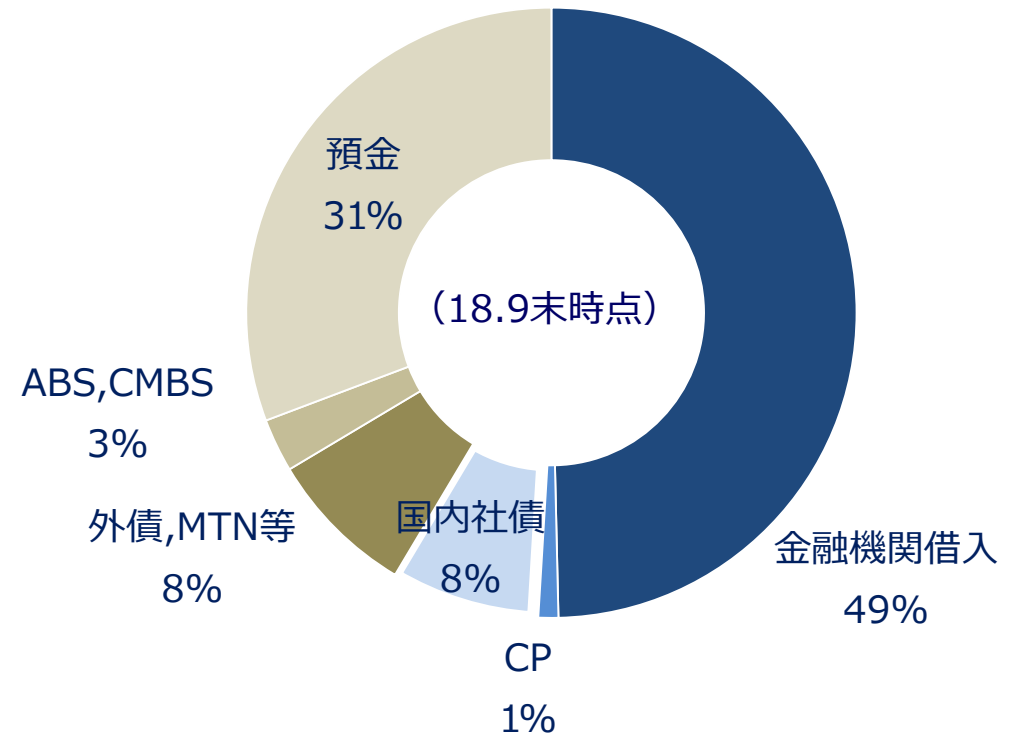


✓ 調達の長期化・安定化とコストコントロールの両方を実現

調達構造・長期借入比率 (※)・コストの推移

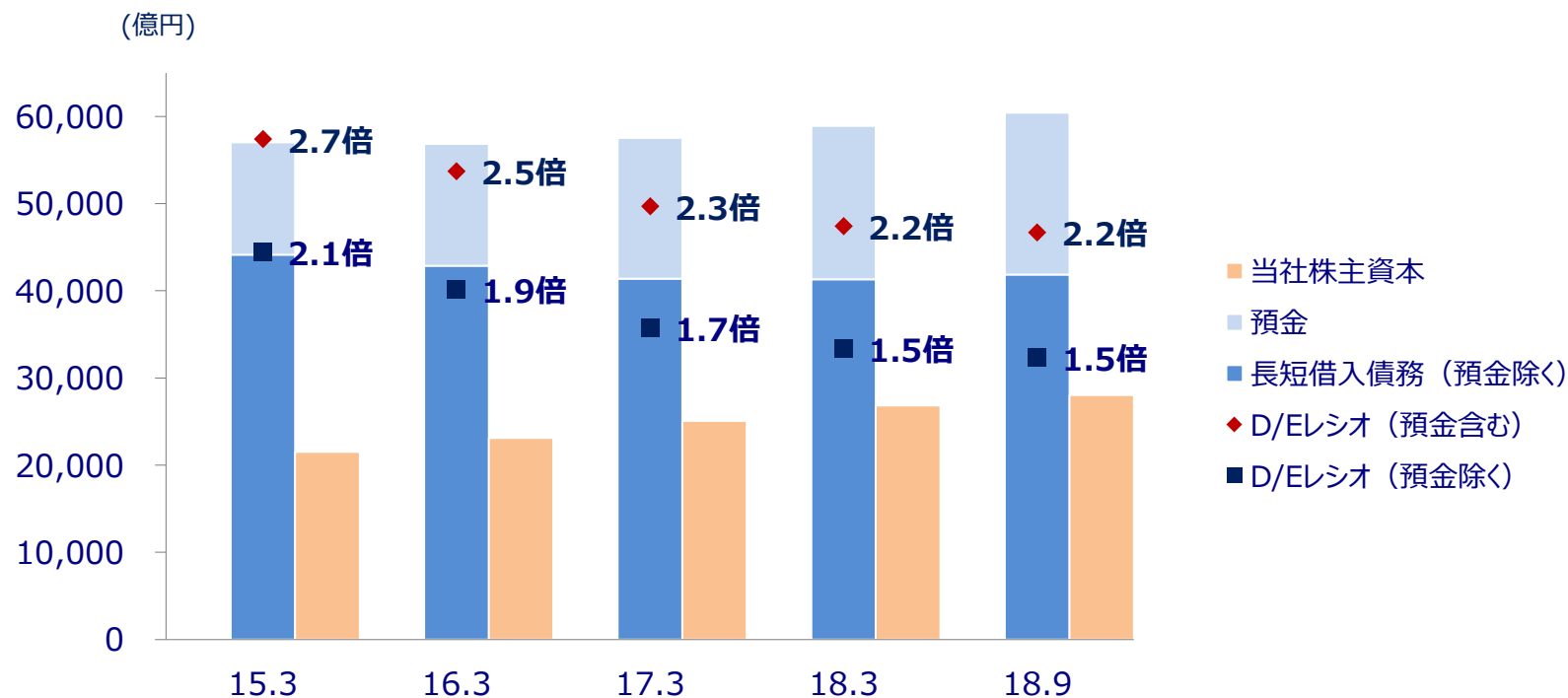


資金調達の内訳

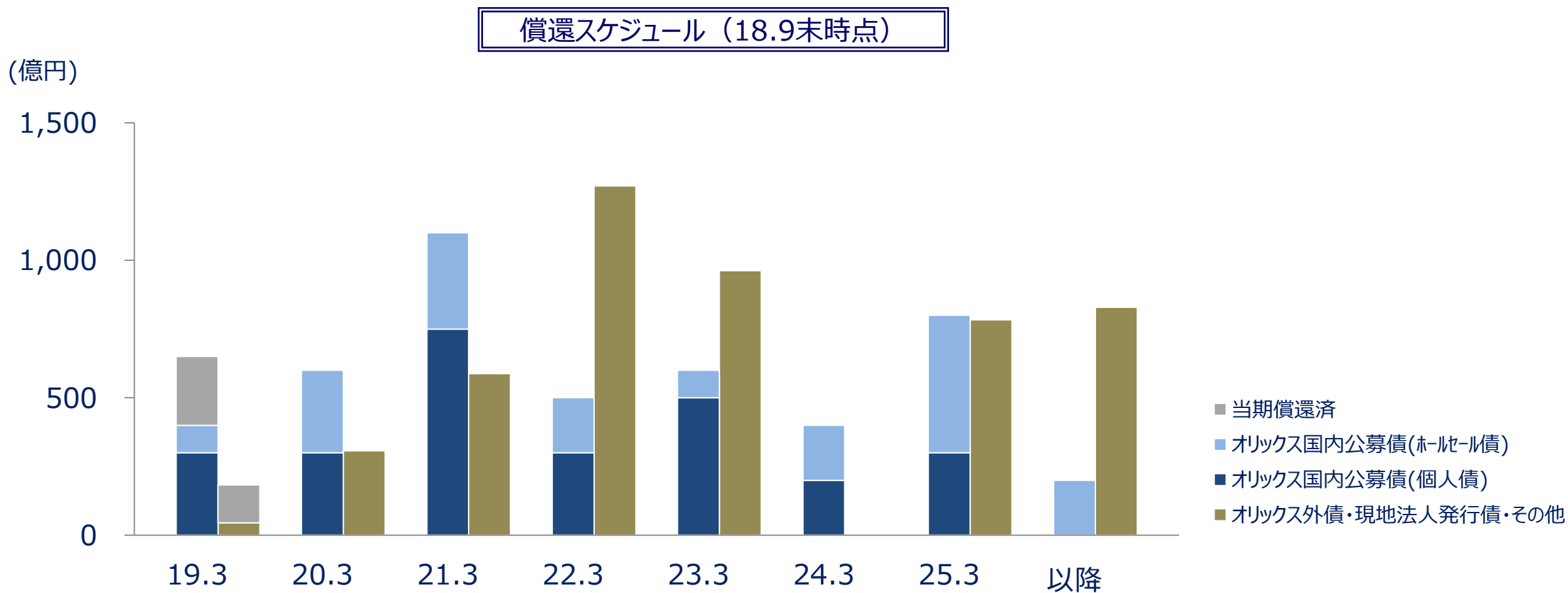


✓ D/Eレシオは横ばい

D/Eレシオの推移



✓ 償還期日の分散を通じ、各期償還額の平準化を実現



財務 (4) アセットクオリティ

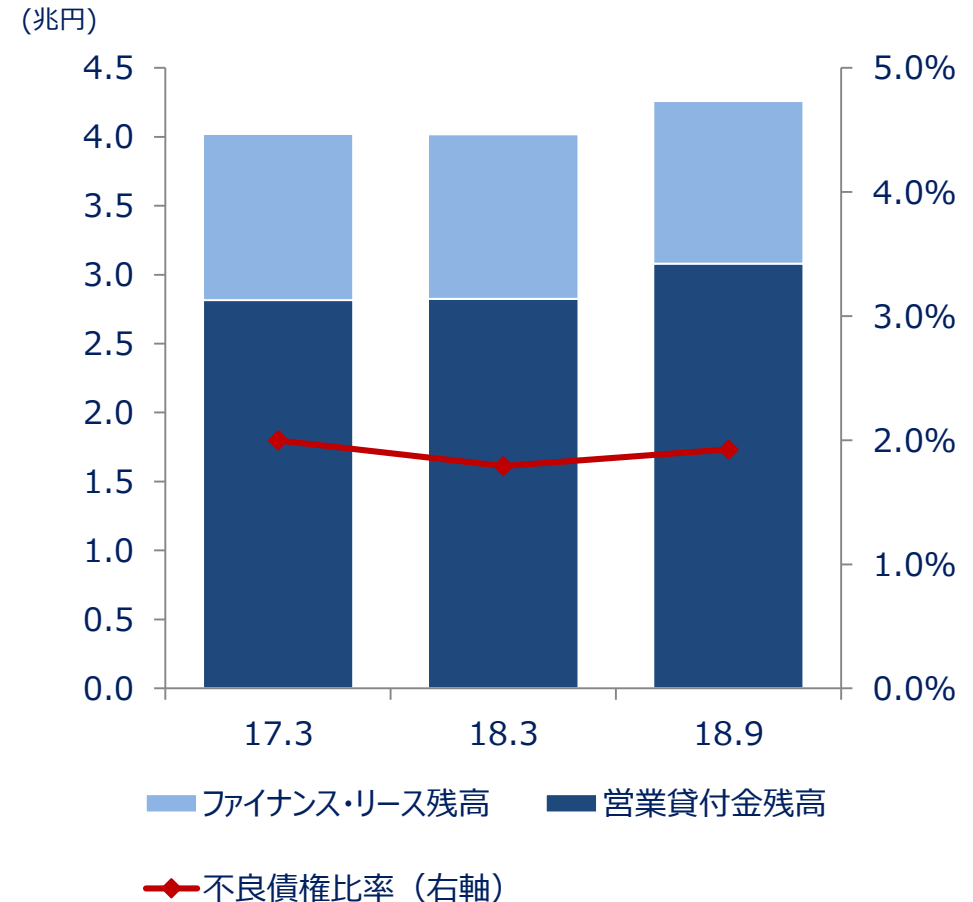
✓ 不良債権比率は引き続き低水準

個別引当対象貸付金債権額の保全率

(億円)	17.3	18.3	18.9
個別引当対象貸付金債権額 (a)	590	471	545
回収見込額	390	328	* 417
不動産担保等で保全されている額	316	272	286
保全額 (b)	517	416	413
不動産担保等で保全されている額	316	272	286
貸倒引当金残高 (個別引当)	201	143	127
保全率 (b)/(a)	87.5%	88.2%	75.9%

* 個別引当対象貸付金債権額のうち不動産担保等で保全されている債権額(286億円) 、およびキャッシュフロー等の担保処分以外からの回収を見込む債権額 (131億円) の合計

不良債権比率の推移



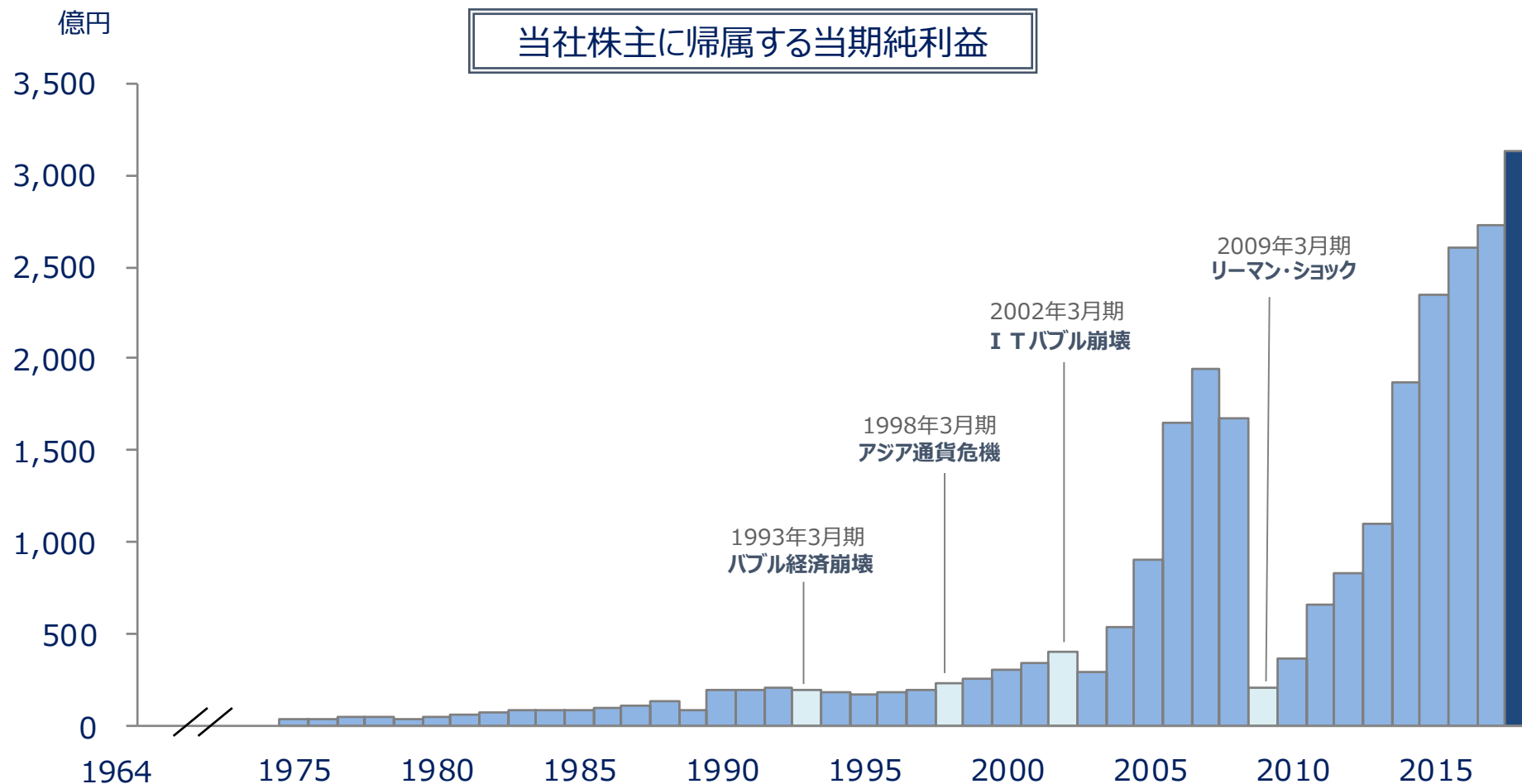
**19.3期上期の当期純利益は1,550億円、
ROEは11.3%（年換算）**

**引き続き、19.3期通期での4-8%成長、
ROE11%以上を目指す**

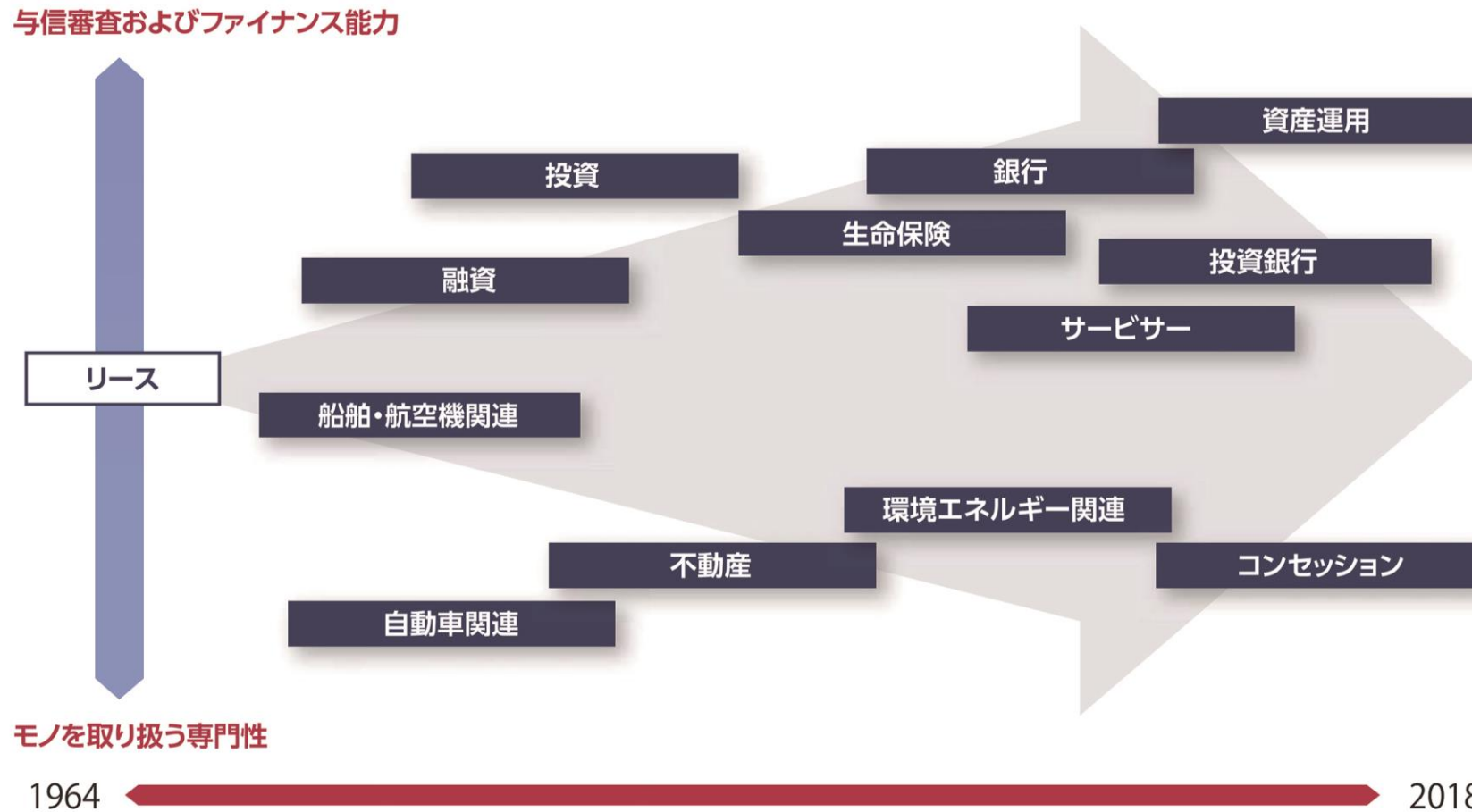
**19.3期の配当性向を、27%から30%に引き上げ
投資と還元の最適なバランスを考慮していく**

補足資料

- ✓ 設立初年度を除き、53年間毎期黒字を計上



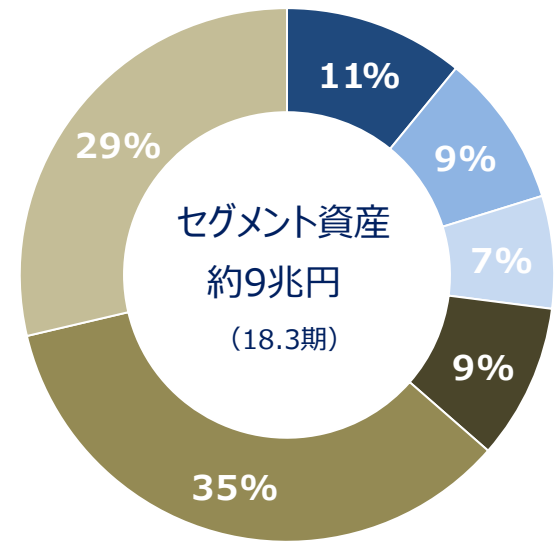
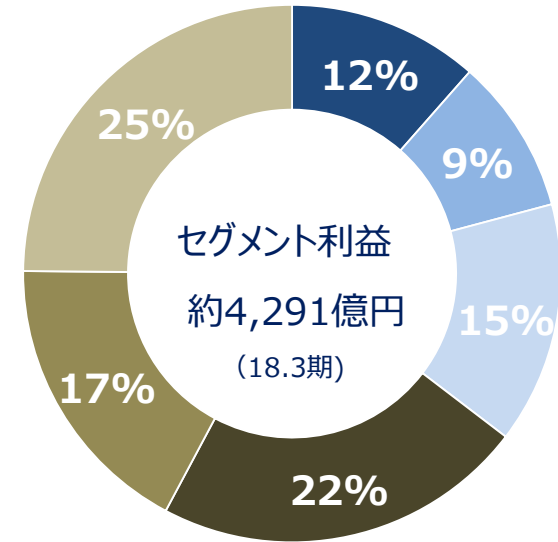
✓ 「金融」と「モノ」の専門性を高めながら、隣へ、そのまた隣へと事業展開



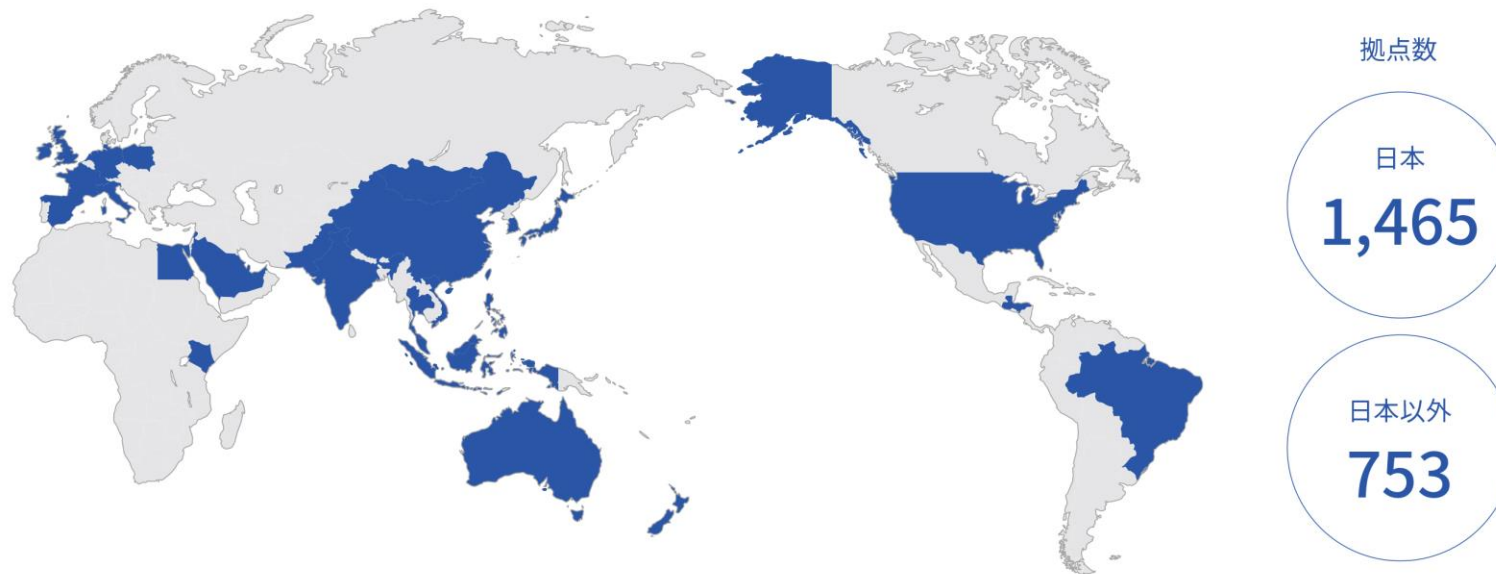
オリックスについて セグメント別の利益・資産の構成

✓ それぞれの事業が独自の強みを最大限に発揮し、相乗効果を生み出している

法人金融	融資、リース、各種手数料ビジネス
メンテナンスリース	自動車リース、レンタカー、カーシェアリング、電子計測器・IT関連機器などのレンタル及びリース
不動産	不動産開発・賃貸、施設運営、不動産投資法人（REIT）の資産運用・管理、不動産投資顧問
事業投資	環境エネルギー、プリンシパル・インベストメント、サービサー（債権回収）、コンセッション
リテール	生命保険、銀行、カードローン
海外	リース、融資、債券投資、アセットマネジメント、航空機・船舶関連



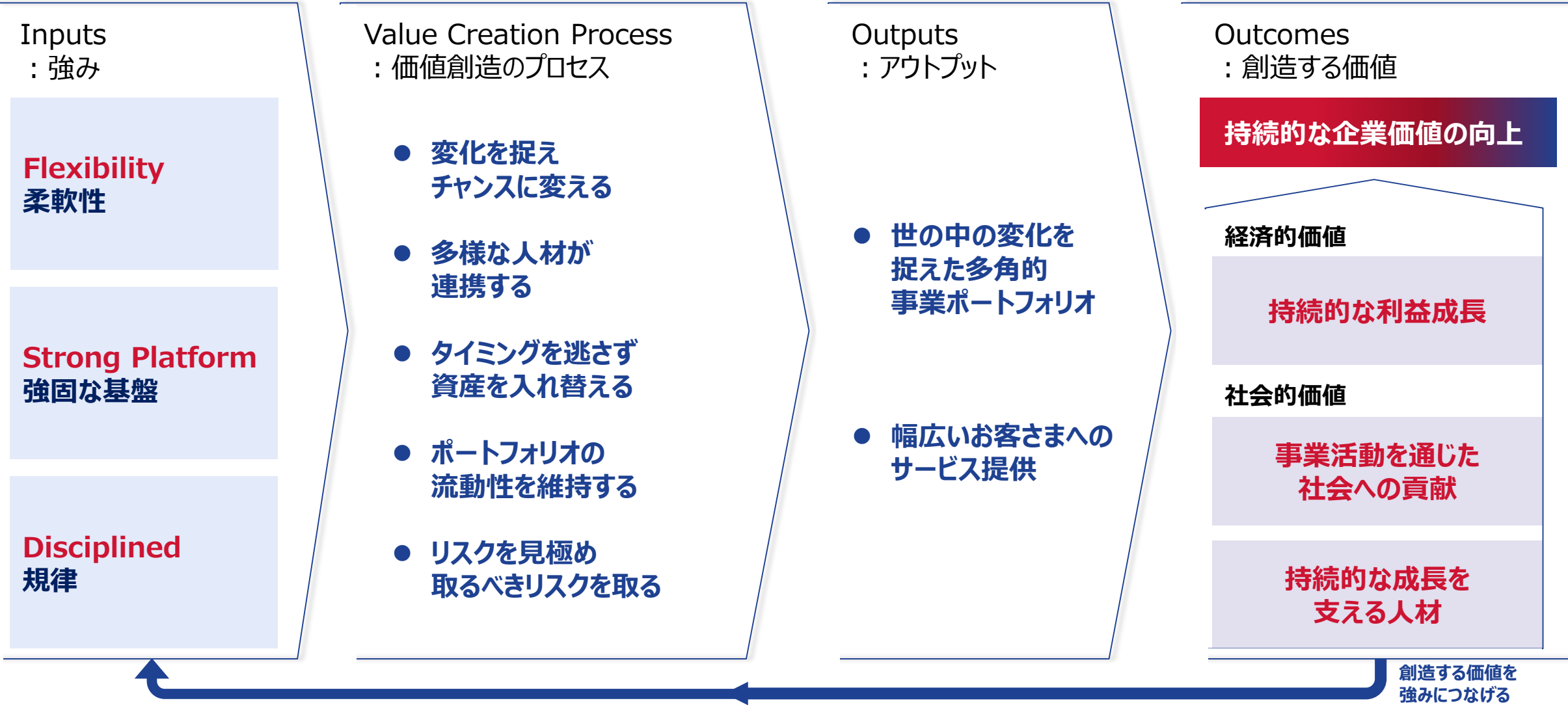
- ✓ 国内で培ったノウハウを元にネットワークを拡大、世界38ヶ国・地域で事業を展開



(2018年9月末日時点)

1970年代	1980年代	1990年代	2000年代	2010年代
グローバルネットワークの国数				
7カ国	12カ国	18カ国	26カ国	38カ国
アジアでのリースを中心としたグローバルネットワークの拡大		グローバルネットワークの拡大継続 航空機関連やエクイティ投資への事業が多角化		ロベコ買収や、環境エネルギー事業の展開を通じてさらに事業分野が拡大

✓ 社会の変化や市場の変化を捉えて新しい価値を創造



✓ 引き続き、「事業」「投資」分野を成長ドライバーとしていく

事業

環境エネルギー

- 国内メガソーラー順次稼働、自社電源の活用を推進
- 海外の投資機会も積極的に発掘

アセットマネジメント

- ビジネスラインの多様化、地理的拡大を進める
- 日本での不動産アセットマネジメント事業順調、運用資産の拡大を模索

コンセッション

- 空港運営以外のコンセッションにも挑戦
- 海外の案件も含め、幅広くチャンスを狙う

生命保険

- 販売チャネルや商品を拡充させ、次のステージへ

投資

PE投資

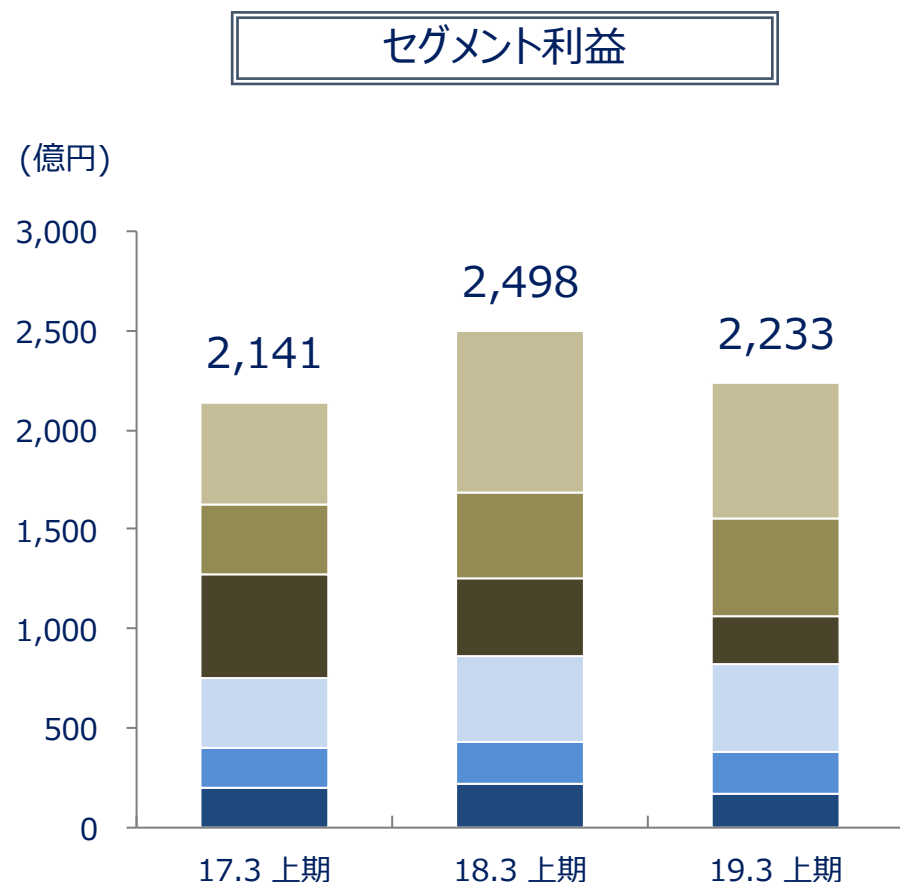
- 既存投資先のバリューアップを継続
- 米州やアジアでの投資を積極的に推進

航空機・船舶

- 多様な収益源を確保
- 引き続き、積極的な対応をしていく

業績総括：セグメント利益

- ✓ セグメント利益合計は2,233億円（前年同期比▲10.6%）
- ✓ 事業投資、海外、法人金融サービスセグメントで減益となる一方、リテールでは14%の増益

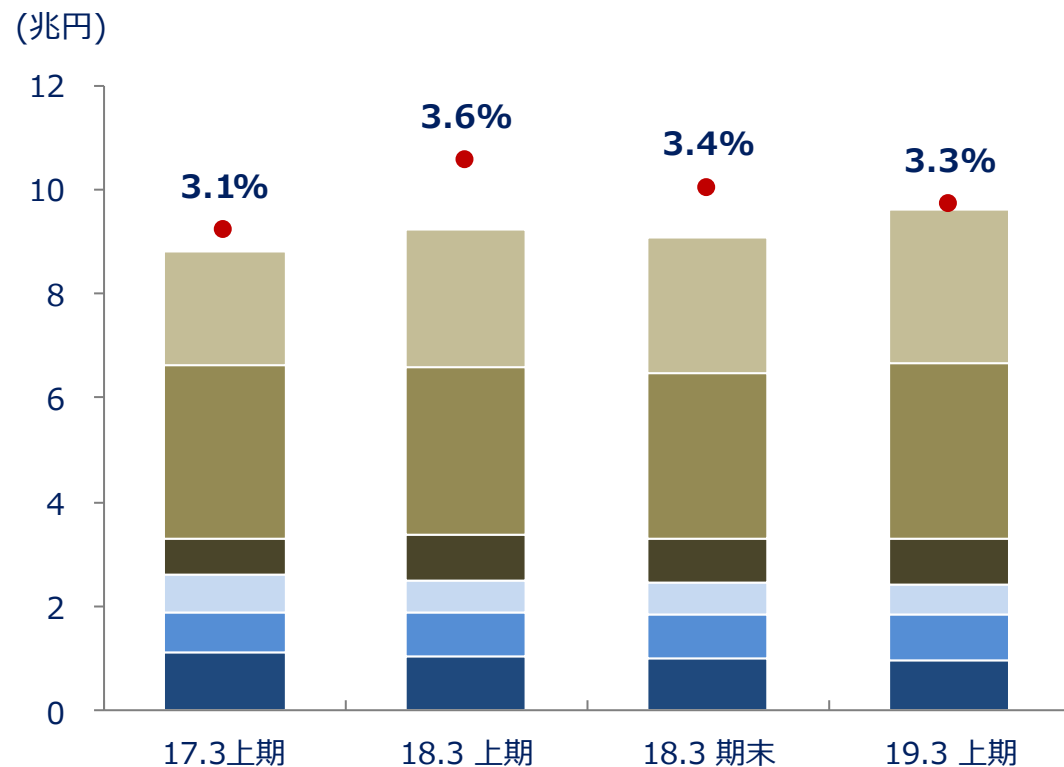


	前年同期比	コメント
法人金融サービス	▲53	<ul style="list-style-type: none"> 前期は関連会社株式および有価証券の売却益計上 金融収益減少、サービス収入増加
メンテナンスリース	+1	<ul style="list-style-type: none"> 中古車売却益は減少したが、レンタル事業は堅調
不動産	+2	<ul style="list-style-type: none"> 前年同期並みの売却益を計上
事業投資	▲141	<ul style="list-style-type: none"> 前期に大口の売却益あり
リテール	+62	<ul style="list-style-type: none"> 生命保険、銀行・クレジットともに増益
海外	▲137	<ul style="list-style-type: none"> インドにおける関連会社の損失を計上

業績総括：セグメント資産

- ✓ セグメント資産は9兆6,205億円（前期末比+5.7%）
- ✓ 海外はNXT Capitalの買収と航空機の資産の積み上げで大幅に増加
- ✓ リテール、事業投資、メンテナンスリースでも堅調に推移

セグメント資産とROA（年換算）



	前期末比	コメント
法人金融サービス	▲255	・ ファイナンスリース、営業貸付金が減少
メンテナンスリース	+118	・ 自動車の新規実行により増加
不動産	▲428	・ 売却により事業用資産、賃貸不動産が減少
事業投資	+367	・ 大京、環境エネルギーで増加
リテール	+1,945	・ 生命保険、銀行で増加
海外	+3,469	・ NXT Capitalの買収、航空機の増加

(単位：億円)

	17.3期	18.3期	18.3期 上期	19.3期 上期	前年同期比
営業収益	26,787	28,628	15,178	12,620	83%
当期純利益 ※1	2,732	3,131	1,660	1,550	93%
セグメント資産	92,019	90,989	92,313	96,205	104%
総資産	112,319	114,260	114,260	117,785	103%
株主資本	25,077	26,824	26,107	28,040	107%
株主資本比率	22.3%	23.5%	22.8%	23.8%	+1.0%
ROE	11.3%	12.1%	13.0%	11.3%	-1.7%
セグメント資産ROA	2.96%	3.42%	3.60%	3.31%	-0.29%
D/E比率					
長短借入債務および預金/株主資本	2.3倍	2.2倍	2.3倍	2.2倍	-0.1倍
長短借入債務/株主資本	1.7倍	1.5倍	1.6倍	1.5倍	-0.1倍

※1 当社株主に帰属する当期純利益

補足資料（２）セグメント別利益

(単位：億円)

	17.3期	18.3期	18.3期 上期	19.3期 上期	前年同期比
法人金融サービス	380	493	220	168	76%
メンテナンスリース	398	402	204	206	101%
不動産	728	624	440	442	100%
事業投資	850	961	389	249	64%
リテール	729	745	430	492	114%
海外	1,124	1,066	814	677	83%
セグメント利益合計	4,209	4,291	2,498	2,233	89%

補足資料（3）セグメント別資産

(単位：億円)

	17.3	18.3	18.3期 上期	19.3期 上期	前期末比
法人金融サービス	10,860	9,918	10,433	9,664	97%
メンテナンスリース	8,067	8,472	8,226	8,590	101%
不動産	6,577	6,202	6,289	5,774	93%
事業投資	7,800	8,563	8,729	8,931	104%
リテール	32,934	31,745	32,091	33,690	106%
海外	25,781	26,088	26,544	29,557	113%
セグメント資産合計	92,019	90,989	92,313	96,205	106%

* 当連結会計年度より、リース債権、貸付債権等の金融資産を証券化するためのVIEについては、セグメント収益・セグメント利益・セグメント資産に含めて計上しており、過年度の財務諸表に遡って適用しています。

補足資料（４） 損益の状況

(単位：億円)

	17.3期	18.3期	18.3期 上期	19.3期 上期	前年同期比
金融収益	2,119	2,283	1,133	1,174	104%
有価証券売却益および受取配当金	303	433	205	117	57%
オペレーティング・リース収益	1,551	1,273	727	816	112%
生命保険料収入および運用益	958	965	495	549	111%
商品および不動産売上高	865	755	370	254	69%
サービス収入	2,754	2,981	1,516	1,650	109%
営業粗利益 ※1	8,549	8,691	4,447	4,560	103%
支払利息	729	768	379	418	110%
販売費および一般管理費	4,187	4,316	2,093	2,106	101%
貸引・減損	384	240	99	89	90%
その他の損益（純額）	-44	4	-15	-5	34%
営業利益	3,292	3,362	1,890	1,951	103%
持分法投資損益	265	501	386	68	18%
子会社・関連会社株式売却損益等	692	492	250	190	76%
税引前当期純利益	4,250	4,355	2,526	2,209	87%
当期純利益	2,732	3,131	1,660	1,550	93%

※1 営業収益に対応する原価・費用を控除したネットの金額

補足資料（5）財務の状況

(単位：億円)

資金調達残高	17.3	18.3	18.3期 上期	19.3期 上期	前年同期比
CP	501	549	712	798	86
金融機関借入	29,582	30,562	30,444	29,995	-449
社債・MTN	8,851	9,401	9,721	9,352	-369
預金	16,146	17,575	16,984	18,579	1,595
ABS、CMBS	2,451	821	1,156	1,710	554
長短借入債務および預金	57,531	58,907	59,016	60,434	1,418
長期比率	93%	93%	92%	92%	0%

手元流動性（銀行・生命を除く）	17.3	18.3	18.3期 上期	19.3期 上期	前年同期比
現金および現金等価物（①）	5,866	6,177	5,678	5,112	-566
コミットライン未使用額（②）	3,940	3,327	3,764	3,277	-487
手元流動性（①+②）	9,806	9,504	9,442	8,389	-1,053
市場性短期債務（③）※1	2,909	1,384	2,053	1,556	-497
手元流動性カバー率（〔①+②〕/③）	337%	687%	460%	539%	79%

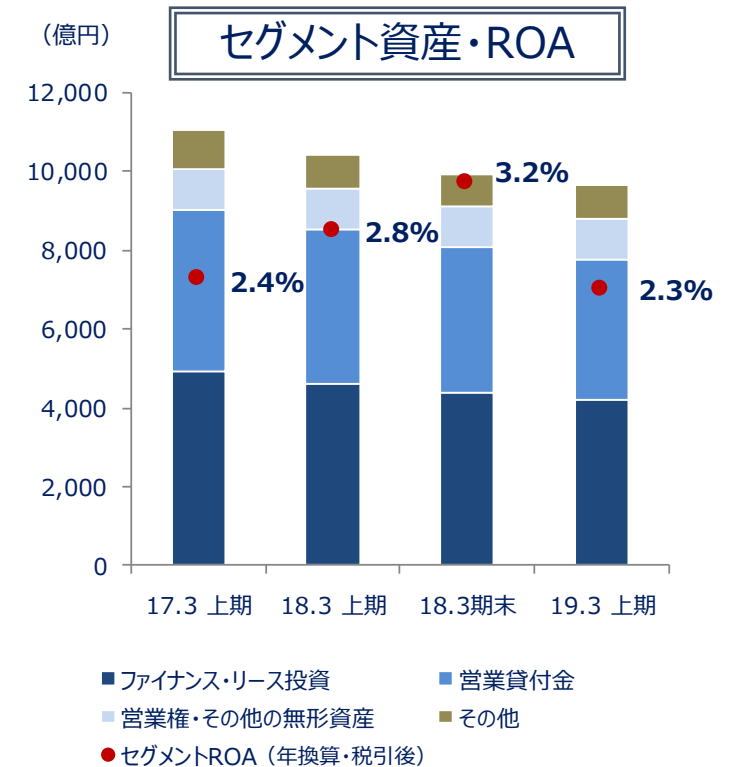
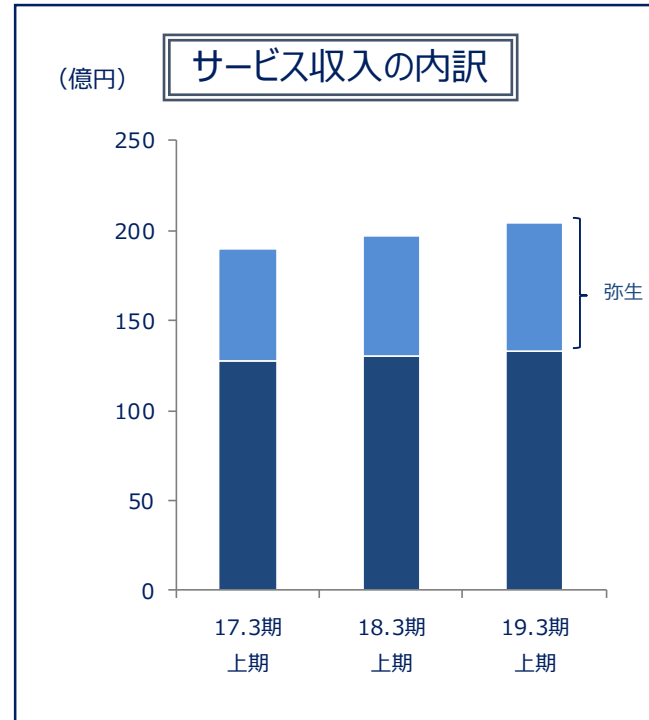
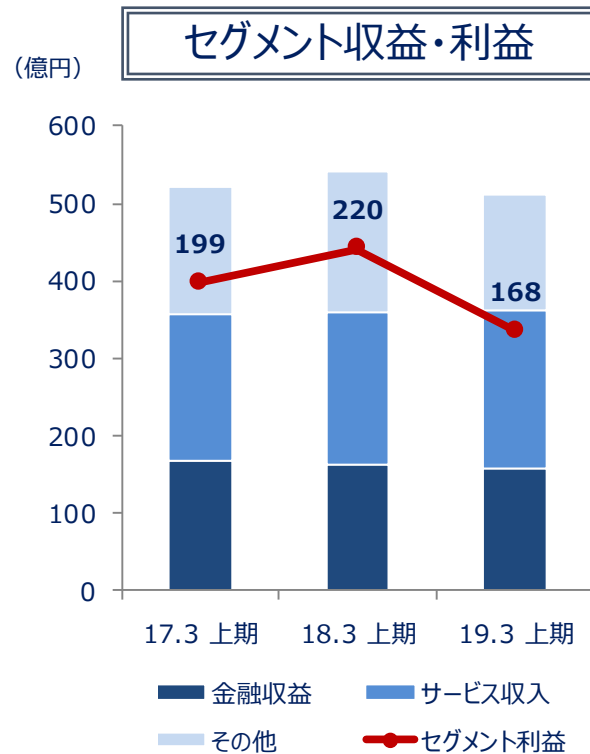
資金調達コスト（預金含む）	17.3期	18.3期	18.3期 上期	19.3期 上期	前年同期比
円貨	0.50%	0.42%	0.43%	0.41%	-0.02%
外貨	2.80%	2.76%	2.71%	3.10%	0.39%

※1 1年以内に償還予定の社債・MTNと、CP残高の合計値

セグメント実績

セグメント別業績（1） 法人金融サービス

- セグメント利益：168億円 前年同期比 ▲53億円（▲24%）
 - ✓ 前年同期は関連会社株式および有価証券の売却益を計上（59億円）
 - ✓ 金融収益は減少、サービス収入は増加
- セグメント資産：9,664億円 前期末比 ▲255億円（▲3%）
 - ✓ 主にファイナンス・リース投資、営業貸付金が減少



セグメント別業績（1）法人金融サービス

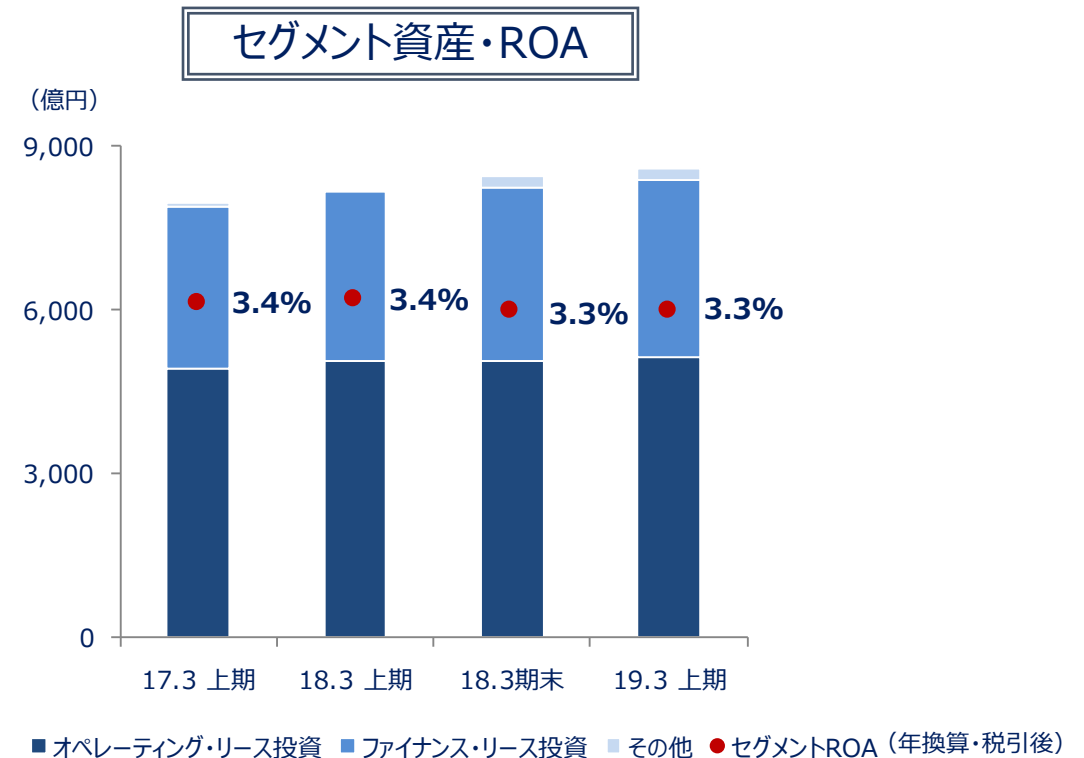
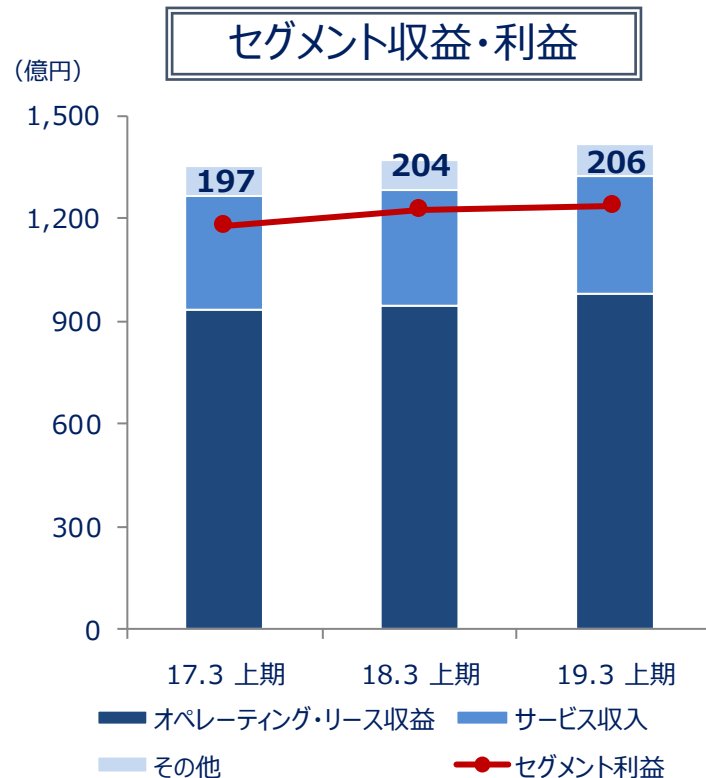
（単位：億円）

	17.3期	18.3期	18.3期 上期	19.3期 上期	前年同期比
金融収益	324	307	162	157	97%
オペレーティング・リース収益	256	234	115	119	104%
サービス収入	385	403	197	205	104%
商品および不動産売上高 他	66	215	66	30	46%
セグメント収益	1,031	1,158	541	511	94%
セグメント費用	682	688	342	338	99%
セグメント利益	380	493	220	168	76%

ファイナンス・リース投資	4,834	4,393	4,611	4,226
営業貸付金	4,029	3,699	3,920	3,537
セグメント資産	10,860	9,918	10,433	9,664
ROA	2.34%	3.24%	2.83%	2.35%

セグメント別業績（2）メンテナンスリース

- セグメント利益：206億円 前年同期比 +1億円（+1%）
 - ✓ 中古車売却益が前年同期比で減少、レンタル事業が業績を牽引
- セグメント資産：8,590億円 前期末比 +118億円（+1%）
 - ✓ 自動車リースの新規実行が増加



セグメント別業績（２）メンテナンスリース

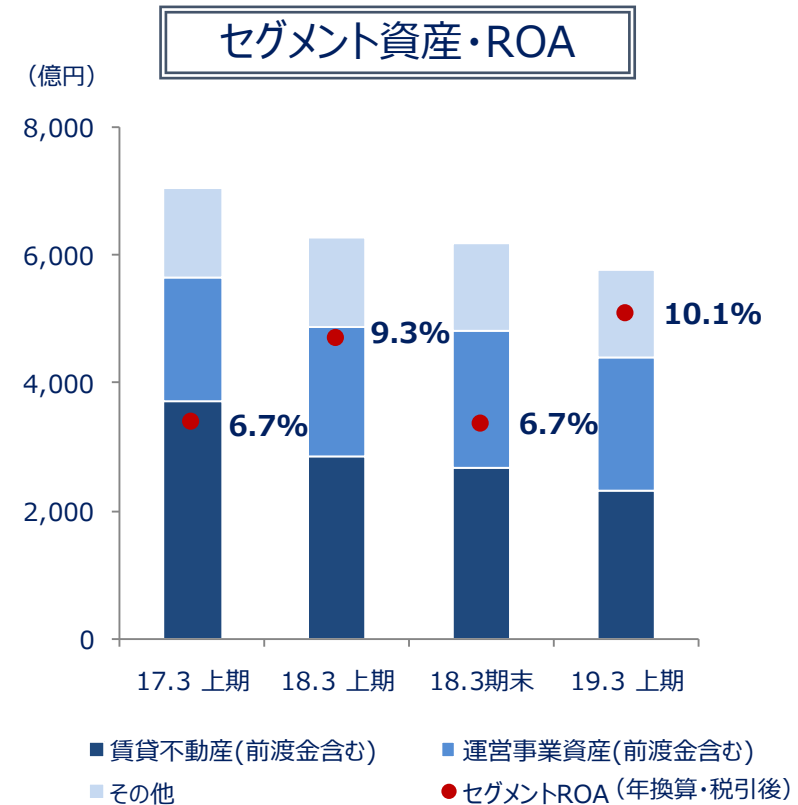
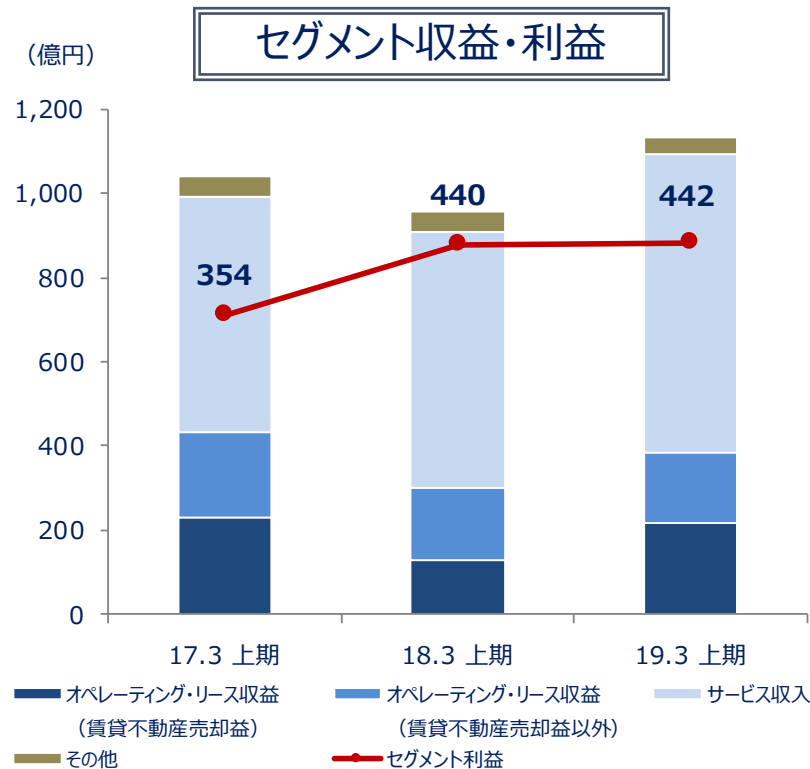
（単位：億円）

	17.3期	18.3期	18.3期 上期	19.3期 上期	前年同期比
金融収益	134	142	71	71	100%
オペレーティング・リース収益	1,873	1,897	945	980	104%
サービス収入	663	678	337	341	101%
セグメント収益	2,710	2,759	1,372	1,416	103%
セグメント費用	2,311	2,356	1,165	1,210	104%
セグメント利益	398	402	204	206	101%

ファイナンス・リース投資	3,089	3,199	3,127	3,247
オペレーティング・リース投資	4,926	5,055	5,051	5,128
セグメント資産	8,067	8,472	8,226	8,590
ROA	3.42%	3.32%	3.43%	3.31%

セグメント別業績（3）不動産

- セグメント利益：442億円 前年同期比 +2億円（横ばい）
 - ✓ 前年同期並みの不動産売却益を計上
- セグメント資産：5,774億円 前期末比 ▲428億円（▲7%）
 - ✓ 売却により運営事業資産および賃貸不動産が減少



セグメント別業績（3）不動産

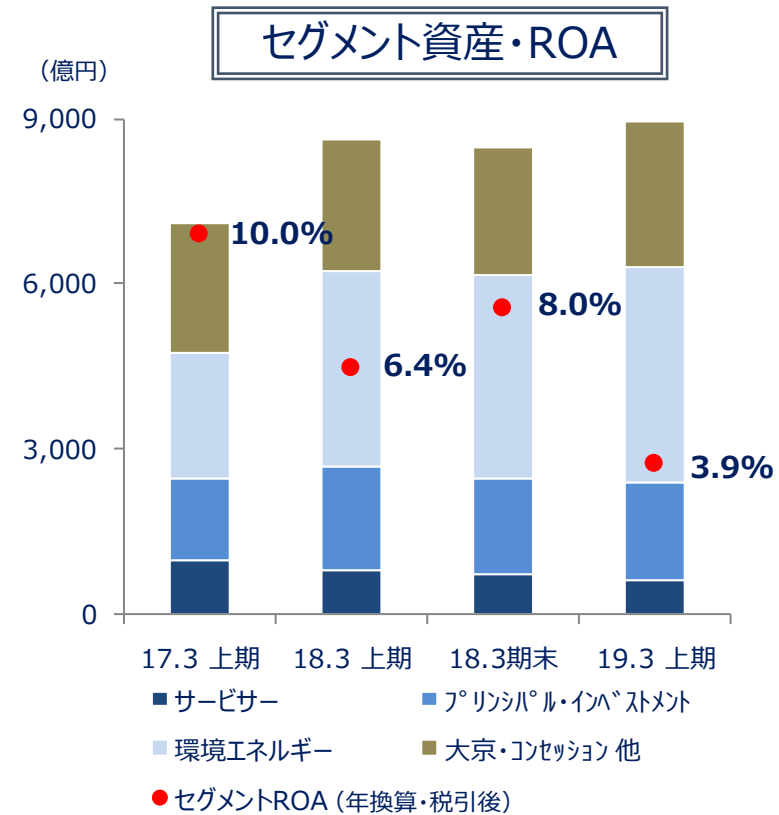
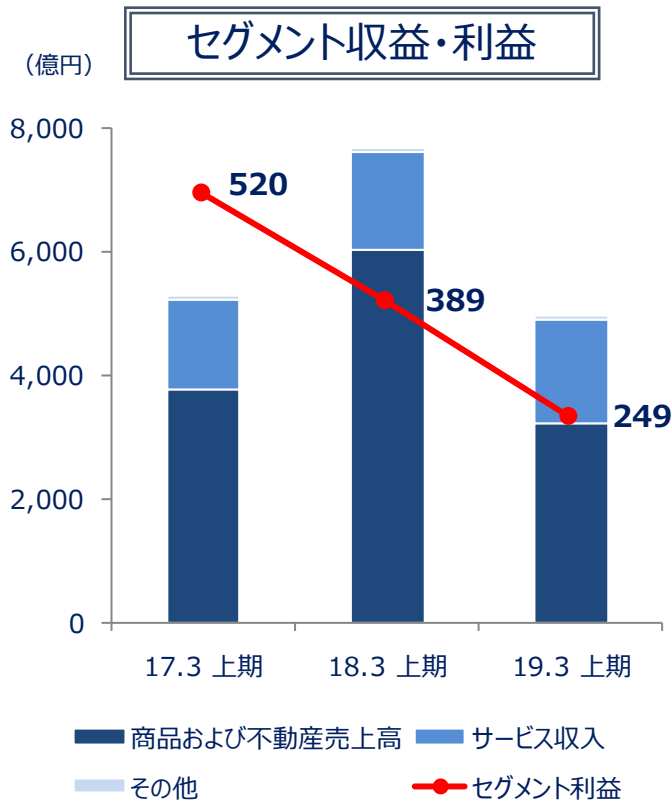
(単位：億円)

	17.3期	18.3期	18.3期 上期	19.3期 上期	前年同期比
金融収益	23	21	10	10	99%
オペレーティング・リース収益	882	469	301	383	127%
うち賃貸不動産売却益	497	130	126	215	171%
サービス収入	1,126	1,161	609	712	117%
商品および不動産売上高 他	90	79	38	31	81%
セグメント収益	2,121	1,729	958	1,135	119%
セグメント費用	1,431	1,432	728	719	99%
セグメント利益	728	624	440	442	100%

オペレーティング・リース投資	2,982	2,470	2,683	2,103
事業用資産	1,850	1,955	1,907	2,006
ホテル・旅館	715	826	777	876
ゴルフ場	533	541	541	539
その他	602	588	589	591
賃貸資産前渡金	186	205	172	222
関連会社投資	993	867	932	901
セグメント資産	6,577	6,202	6,289	5,774
ROA	7.12%	6.67%	9.34%	10.11%

セグメント別業績（４） 事業投資

- セグメント利益：249億円 前年同期比 ▲141億円（▲36%）
 - ✓ 前期に大口売却益を計上、大京は下期偏重の計画のため上期の利益は限定的
- セグメント資産：8,931億円 前期末比 +367億円（+4%）
 - ✓ 大京と環境エネルギーで資産増加



セグメント別業績（４） 事業投資

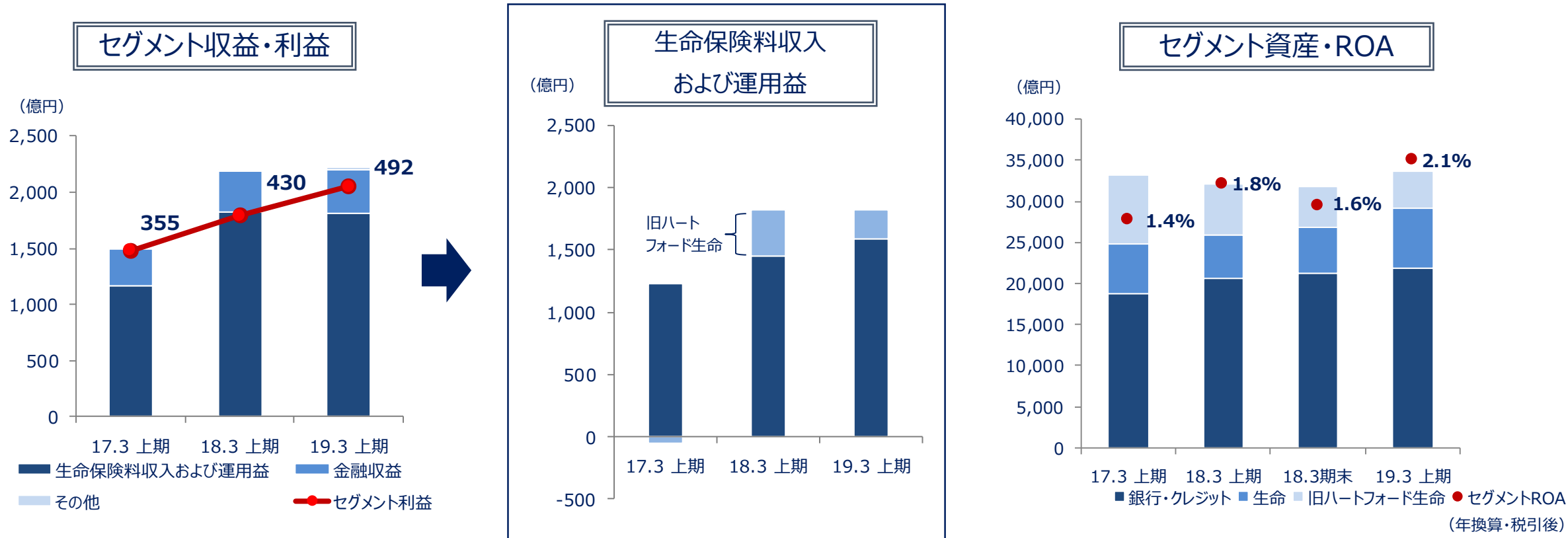
(単位：億円)

	17.3期	18.3期	18.3期 上期	19.3期 上期	前年同期比
金融収益	110	93	47	53	111%
有価証券売却益および受取配当金	130	76	44	8	17%
商品および不動産売上高	9,384	10,487	6,018	3,202	53%
サービス収入	2,995	3,263	1,580	1,694	107%
オペレーティング・リース収益 他	102	105	57	34	60%
セグメント収益	12,721	14,024	7,745	4,990	64%
セグメント費用	12,244	13,502	7,486	4,821	64%
持分法投資損益等	373	439	131	80	61%
セグメント利益	850	961	389	249	64%

営業貸付金	715	594	666	529
投資有価証券	477	299	366	316
事業用資産	1,877	2,081	1,850	2,191
棚卸資産	1,128	1,015	1,254	1,205
関連会社投資	715	1,704	1,443	1,717
営業権・その他の無形資産	1,809	1,851	1,917	1,819
セグメント資産	7,800	8,563	8,729	8,931
ROA	7.75%	8.02%	6.43%	3.90%

セグメント別業績（5）リテール

- セグメント利益：492億円 前年同期比 +62億円（+14%）
 - ✓ 生命保険料収益と銀行の金融収益が伸長
- セグメント資産：33,690億円 前期末比 +1,945億円（+6%）
 - ✓ 生命の投資有価証券、銀行の貸付金残高が増加



セグメント別業績（５）リテール

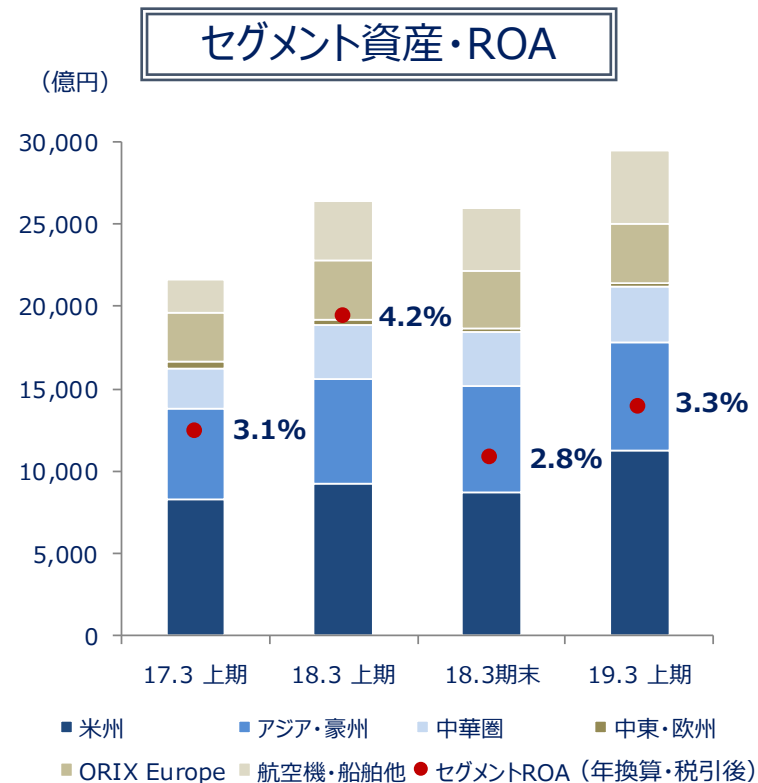
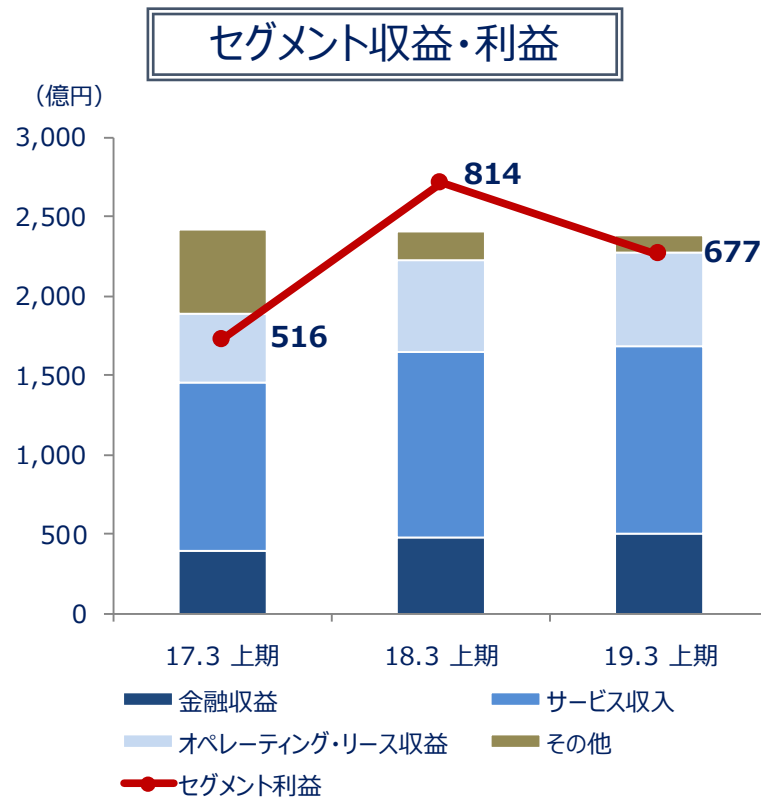
(単位：億円)

	17.3期	18.3期	18.3期 上期	19.3期 上期	前年同期比
金融収益	681	729	364	387	106%
生命保険料収入および運用益	2,979	3,530	1,819	1,813	100%
サービス収入 他	27	28	12	18	155%
セグメント収益	3,687	4,287	2,195	2,217	101%
セグメント費用	2,958	3,542	1,766	1,726	98%
セグメント利益	729	745	430	492	114%

営業貸付金	17,270	18,528	17,962	19,104
投資有価証券	15,027	12,603	13,503	14,009
セグメント資産	32,934	31,745	32,091	33,690
ROA	1.47%	1.57%	1.80%	2.06%

セグメント別業績（6）海外

- セグメント利益：677億円 前年同期比 ▲137億円（▲17%、為替影響▲1億円）
 - ✓ インドにおける関連会社の損失を計上（▲115億円）、米州や航空機事業は堅調に推移
- セグメント資産：29,557億円 前期末比 +3,469億円（+13%、為替影響+925億円）
 - ✓ NXT Capitalの買収と航空機の資産の積み上げで大幅に増加



セグメント別業績（6）海外①

(単位：億円)

	17.3期	18.3期	18.3期 上期	19.3期 上期	前年同期比
金融収益	851	984	480	495	103%
有価証券売却益および受取配当金	133	175	113	94	84%
オペレーティング・リース収益	884	1,116	575	592	103%
サービス収入	2,167	2,386	1,170	1,184	101%
セグメント収益	4,627	4,796	2,402	2,388	99%
セグメント費用	3,905	3,829	1,821	1,851	102%
持分法投資損益等	402	99	233	140	60%
セグメント利益	1,124	1,066	814	677	83%

ファイナンス・リース投資	3,577	3,687	3,747	3,729
営業貸付金	6,135	5,346	5,641	7,624
オペレーティング・リース投資	4,206	4,911	4,580	5,608
投資有価証券	4,333	4,134	4,229	3,996
関連会社投資	3,322	3,146	3,388	3,117
営業権・その他の無形資産	3,802	4,270	4,396	4,804
セグメント資産	25,781	26,088	26,544	29,557
ROA	3.08%	2.81%	4.25%	3.33%

■海外セグメント資産の内訳

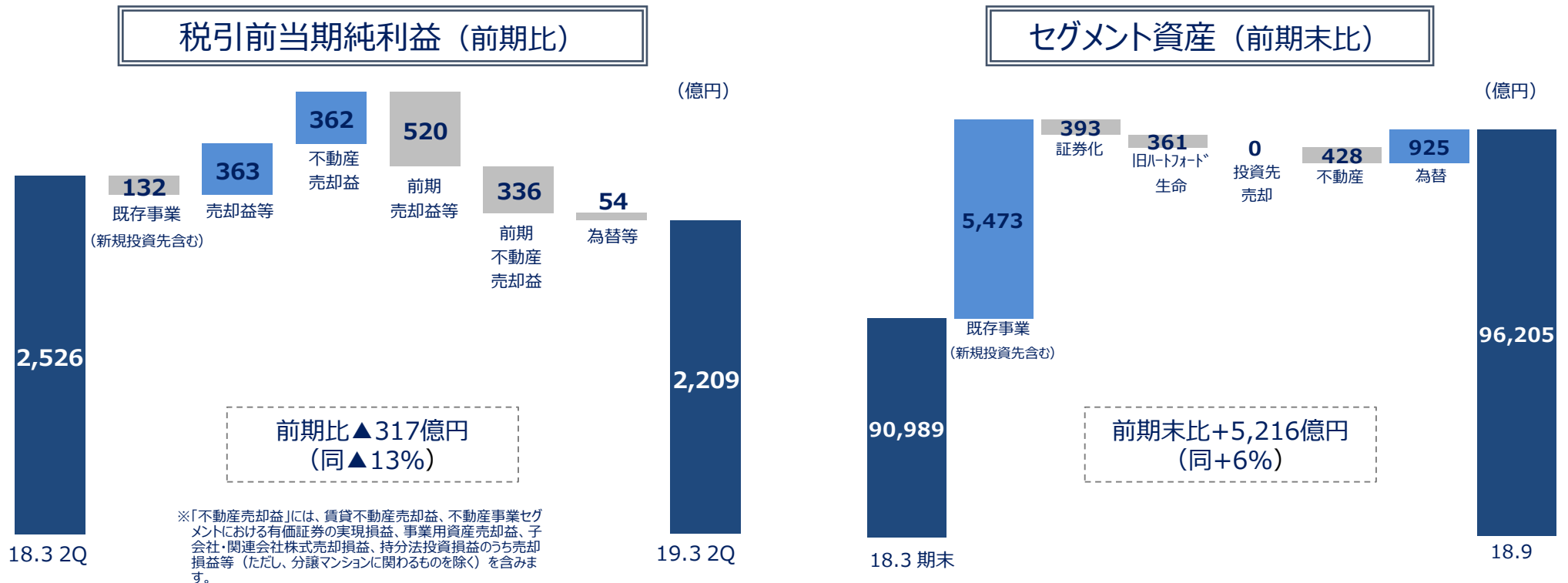
(単位：億円)

地域別	17.3	18.3	18.3期 上期	19.3期 上期	前期末比
米州	10,032	8,697	9,201	11,274	130%
アジア・豪州	5,936	6,435	6,386	6,524	101%
中華圏	3,156	3,296	3,276	3,389	103%
中東・欧州	365	205	333	198	97%
ORIX Europe *	3,173	3,538	3,576	3,608	102%
航空機・船舶	2,969	3,817	3,675	4,468	117%
その他	150	99	98	97	97%
合計	25,781	26,088	26,544	29,557	113%

*Robeco Groep N.V.は、2018年1月より、ORIX Corporation Europe N.V.(ORIX Europe) に社名変更いたしました

税引前利益・セグメント資産の増減要因

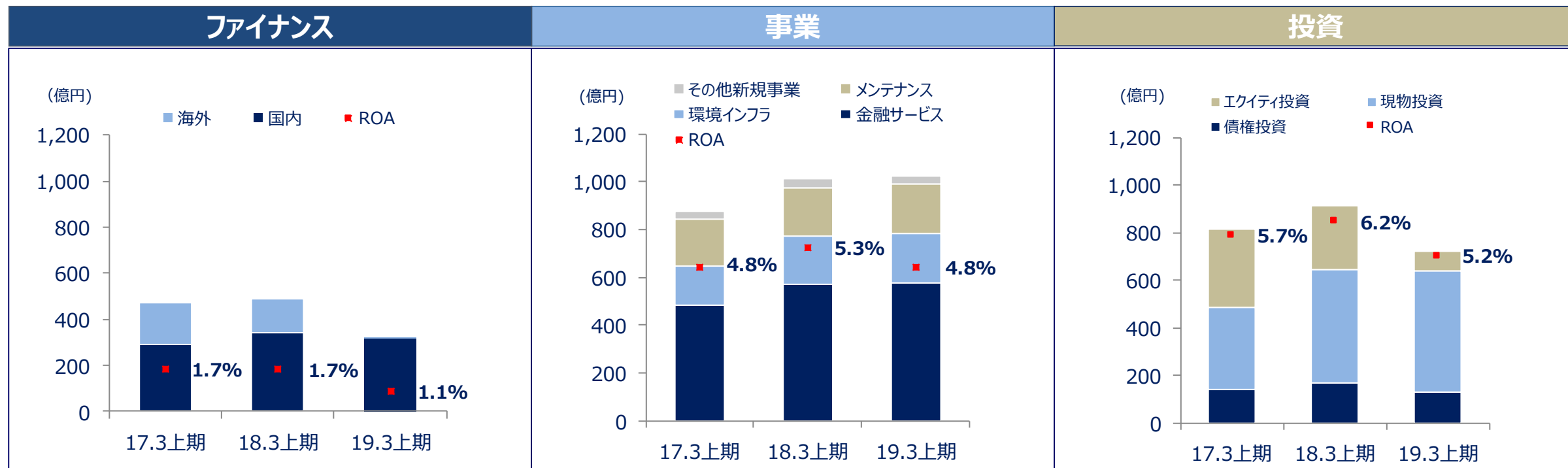
- 税引前当期純利益：前年同期比▲317億円（▲13%）
 - ✓ 既存事業は、インドの関連会社の損失計上により減少。生命保険やコンセッションは堅調
 - ✓ 売却益は前年同期比で減少、不動産売却益は同程度
- セグメント資産：前期末比 +5,216億円（+6%）
 - ✓ 既存事業の増加は、海外セグメントのNXT Capitalの買収や航空機の資産の積み上げが大きく貢献



事業：生命保険やコンセッションが堅調に推移

投資：エクイティ投資における売却益が前期比減

セグメント利益（3分類）



(注1) 17.3 上期の「事業」には、旧ハートフォード生命関連の期中の損益は含まれておりません。

(注2) 18.3 上期の「事業」には、フリーハン株式の売却益と旧ハートフォード生命関連の期中の損益は含まれておりません。

(注3) 19.3 上期の「事業」には、フリーハン株式の売却益と旧ハートフォード生命関連の期中の損益は含まれておりません。19.3 上期のホテルの売却益は「現物投資」に含めています。

ポートフォリオの3分類 セグメント利益

(単位：億円)

3分類	サブカテゴリー	17.3期	18.3期	18.3期 上期	19.3期 上期	前年同期比
ファイナンス	国内	560	734	339	314	92%
	海外	414	155	152	8	5%
	小計	973	888	491	322	65%
事業	環境・インフラ	370	457	202	339	168%
	金融サービス	991	1,220	651	743	114%
	(うち、旧ハートフォード生命)	43	36	29	18	63%
	メンテナンスサービス	398	402	204	206	101%
	その他	56	64	37	29	81%
	小計	1,816	2,142	1,094	1,317	120%
投資	債権投資	234	251	166	130	78%
	現物投資	616	659	481	382	80%
	エクイティ投資	570	350	266	82	31%
	小計	1,420	1,260	912	594	65%
セグメント利益合計		4,209	4,291	2,498	2,233	89%

(単位：億円)

3分類	サブカテゴリー	17.3	18.3	18.3期 上期	19.3期 上期	前期末比
ファイナンス	国内	29,610	29,997	29,886	30,461	102%
	海外	9,013	9,774	9,711	10,322	106%
	小計	38,622	39,771	39,597	40,783	103%
事業	環境・インフラ	5,059	6,086	6,066	6,084	100%
	金融サービス	18,558	16,495	17,577	20,502	124%
	(うち、旧ハートフォード生命)	7,396	4,970	6,151	4,609	93%
	メンテナンスサービス	8,067	8,472	8,226	8,590	101%
	その他	1,027	1,007	1,017	999	99%
	小計	32,711	32,061	32,886	36,175	113%
投資	債権投資	5,404	4,650	5,097	4,197	90%
	現物投資	7,620	8,086	8,012	8,496	105%
	エクイティ投資	7,662	6,420	6,721	6,554	102%
	小計	20,686	19,157	19,830	19,247	100%
セグメント資産合計		92,019	90,989	92,313	96,205	106%

ポートフォリオの3分類

		ファイナンス	事業	投資
分類	主なリスク	クレジットリスク	運営リスク、事業リスク	マーケットリスク
	資本負荷	低	中～高	高

		国内	海外	環境・インフラ	金融サービス	メンテナンスサービス	その他	債権投資	現物投資	エクイティ投資
セグメント	法人金融サービス	リース 貸付金 ファイナンス					弥生			新規事業
	メンテナンスリース					自動車 レンタル				
	不動産			施設運営	REIT 投資顧問				不動産投資	
	事業投資			環境エネルギー コンサル				サービサー		PE投資 大京
	リテール	銀行 カードローン、保証				生命 (旧ハートフォード生命)				
	海外		リース 貸付金			アセットマネジメント			債券投資	航空機 船舶

中期的な方向性（2019年3月期～2021年3月期）

(2017年10月31日公表)

利益成長

当期純利益 年間成長率4～8%

資本効率

ROE 11% 以上

健全性

信用格付A格

グローバル企業としてのERM強化

株主還元の方針

- **配当性向は27%***
- **自社株買いを機動的な株主還元として位置付ける**

* 2018年10月26日、配当性向を27%から30%へ引き上げを発表

- ✓ 株主資本使用率※は、A格維持を前提とした範囲でコントロール

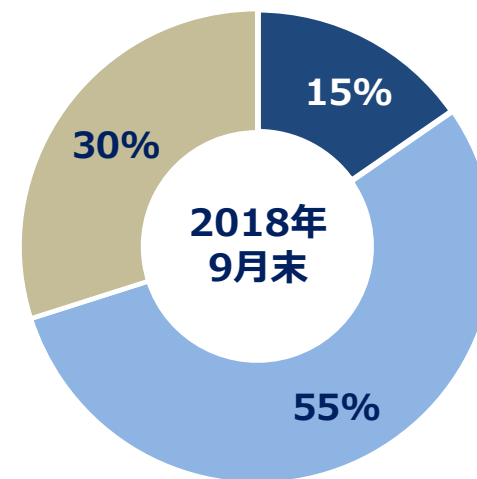
※オリックス社内基準に基づく株主資本使用率（＝リスクキャピタル/株主資本）

株主資本使用率

(単位：億円)

	2018年9月末
当社株主資本	28,040
使用資本	23,828
未使用資本	4,212
株主資本使用率	85.0%

使用資本の内訳



■ ファイナンス ■ 事業 ■ 投資

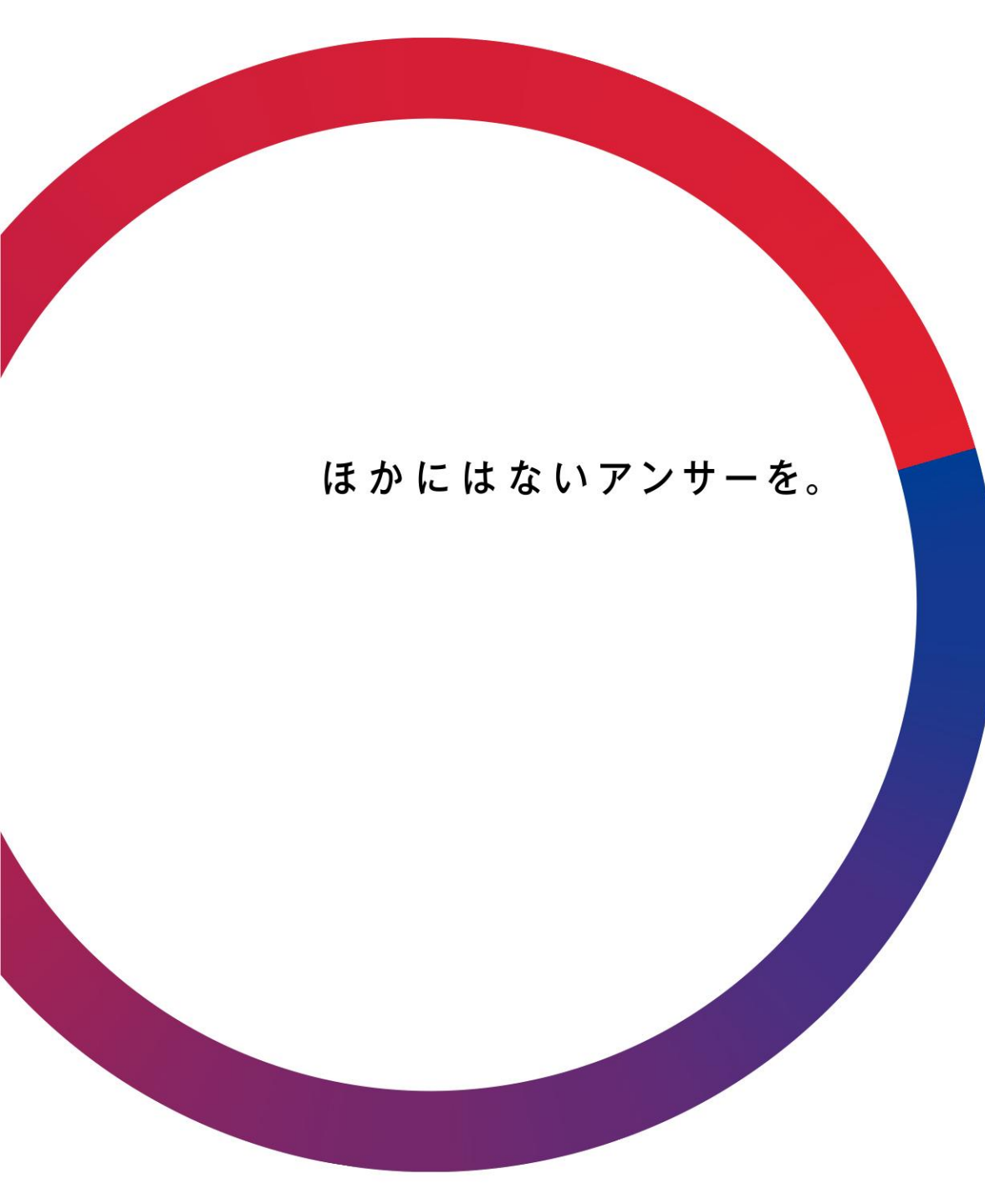
本資料に掲載されている、当社の現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に係る見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた当社の判断に基づいております。

従いまして、これらの見通しのみで全面的に依拠することはお控えくださるようお願いいたします。実際の業績は、外部環境および内部環境の変化によるさまざまな重要な要素により、これらの見通しとは大きく異なる結果となりうることを、ご承知おきください。

これらの見通しと異なる結果を生じさせる原因となる要素は、当社がアメリカ合衆国証券取引委員会（SEC）に提出しておりますForm20-Fによる報告書の「リスク要因（Risk Factors）」、関東財務局長に提出しております有価証券報告書および東京証券取引所に提出しております決算短信の「事業等のリスク」に記載されておりますが、これらに限られるものではありません。

また、ハートフォード生命保険株式会社は、2015年7月1日にオリックス生命保険株式会社と合併し、現在はオリックス生命保険株式会社として引き続きお客さまのご契約をお守りしています。オリックス生命保険株式会社は、The Hartford Financial Services Group, Inc.、またはその関係法人の関連会社ではありません。

なお、本資料は情報提供のみを目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資の勧誘・募集を目的としたものではありません。



ほかにはないアンサーを。

オリックスに関する追加情報については弊社ホームページをご参照いただくか、下記までご連絡下さい。

投資家情報

URL: <https://www.orix.co.jp/grp/company/ir/>

IR資料室

URL: <https://www.orix.co.jp/grp/company/ir/library/>

オリックス株式会社 経営計画部

〒105-6135 東京都港区浜松町2-4-1

TEL : 03-3435-3121

FAX : 03-3435-3154